

月報

1988 1月 号

シンカポール日本商工會議所

〈目次〉

(1988年1月号)

1988年新年随想

新年の御挨拶	(在シンガポール日本国大使館)...	特命全権大使 三宅 和助	1
新年の御挨拶	(ジュロン・エンジニアリング)	古新居 康	3
小さな国の春	(シンガポール松下無線機器)	小出 富夫	4
シンガポール雑感	(日 商 岩 井)	稲垣 富雄	5
天は人に二物を与えず	(伊 藤 忠 商 事)	海老塚 享	6
今年も引締めてゆこう	(日立造船シンガポール)	中尾 大三	8
業界展望	(ホテル・ニューオータニ・シンガポール).....	中田 真人	9
リゾートの効用	(日 本 航 空)	河野 裕	10
実行の決意	(丸 紅)	名取 幸男	11
新年雑感	(三 菱 銀 行)	荻野 輝雄	12
暑い国の正月	(三 菱 商 事)	吉崎 英輔	14
素朴な疑問	(三 井 物 産)	杉崎 彰	15
気にしない気にしない	(NEC エレクトロニクス・シンガポール)	吹野 勝重	16
日本は国際化するか	(新日本製鉄)	東垣内英哉	18
トランプと私	(岡本・シンガポール)	三森 和正	19
初夢の話	(ザ・ポリオレフィン・カンパニ・シンガポール))	牧 英夫	20

年頭の大決心	(シンガポール・タイム)	国方 恒雄	22
幸せの板	(住友銀行)	菊池 巖	23
随 想	(住友商事)	田本 耕三	24
新年雑感	(大成建設)	尾形 悟	25
シンガポールの文化	(東芝シンガポール)	川添 成章	27
中国語とのかかわり	(横河電機新加坡)	徳永 研一	28
「無心」ということ	(フジテック・シンガポール)	風間 一潤	29
ゴルフ随想	(旭TV硝子)	松田 文男	31
シンガポーリアンのところ	(第一勧業銀行)	斎藤 和幸	32
88年に期待する	(ジェトロ・シンガポール)	野島 裕	33
.....			
1988の世界経済の見通し	(東京銀行シンガポール支店)	中川 敬	34
会員紹介	(デロイト・ハスキンス・アンド・セルズ、 インターエイシア・ライン株式会社、 内田洋行トレーディング、 ほくさん工業シンガポール)		40
理事会の動き			43
12月の主な経済記事			47
広 報 欄			54
資料案内			56
編集後記			58

新年随想

1988年

シンガポール日本商工会議所

新年の御挨拶

在シンガポール日本国大使館
特命全権大使 三宅 和助

日本商工会議所会員の皆様、
1988年の年頭にあたり謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

翻ってみますならば、シンガポールは3年前に初めてマイナス経済成長を経験しましたが、その後シンガポール政府が諸般の政策をとり、これが世界経済の回復と相俟ってようやく昨年後半より景気を取戻し、昨年については8%以上の経済成長が達成される可能性が強くなりました。今年もこのような景気回復が継続し明るい年となることが期待されます。

他方、昨年は急激な円高と世界的な株価の大幅な下落、特にシンガポール株価の大幅な下落により色々な苦勞に皆様も直面されたことと推察します。

何と申しましても、シンガポールは面積、人口ともに小さく、また天然資源にも恵まれない国であります、それだけにそのもてるメリットを生かした経済構造の多角化・高度化に成功し、先端産業を中心とする製造工業の輸出も順調で、またチャンギ空港、シンガポール港湾にみられる如く、交通・通信のセンターとしても益々重要な機能を発揮しつつあります。また、シンガポールは金融センターとしても順調な発展を遂げており、将来メタル・エクスチェンジの導入を通じ新しい金融的な役割が増大するものと期待されます。一時不況に陥っていたホテル業界も最近の旅行者の増大

に伴いホテル占有率は70%以上に上昇しております。特に日本からの旅行者は一昨年の40万人を大幅に上回り昨年は50～60万人に達し今年もより一層の増大が期待されます。その他デパート等のサービス産業も好況を呈しており、今年も明るい見通しが得られております。

昨年11月にはリー・シェン・ロン商工大臣が訪日し、竹下総理、宇野外相、田村通産相はじめ経団連、経済同友会、日商の各幹部と会見し、また広くマスコミを通じシンガポール経済の発展性を訴え、日本からの一層の投資拡大を呼びかけました。現在円高に伴い日本からアセアン各国への投資が大幅に増大しつつあることは大いに歓迎されているところです。確かに労働力不足、ジョブ・ホッピング等の問題はありますが、政治的安定性、企業進出にインセンティブを与える諸政策、地理的条件等からみて、比較的高度の技術を必要とする輸出産業部門の対外投資について、シンガポールは極めて有利な投資先にあるということが言えると思います。貿易面では、片貿易の問題が依然としてありますが、最近設立された日系企業の中には対日輸出を意図するところも次第に増えております。シンガポール製品にデザインや品質規格の改善を加えればまだまだ対日輸出増大の余地が残されております。

日本とシンガポールの関係は、基本的に極めて順調であります。それだけに皆々様と力をあわせこの良好な関係を一層維持・発展させていくことが重要と考えます。今後政財各界の一層の交流を通じ関係緊密化を更に図り、何か問題が起こる前にこれを未然に防ぐことが重要と思います。この点古新居会頭を始め日本商工会議所幹部とEDBとの定期会合は極めて時宜を得たものと考えます。

昨年は文化交流につき皆様の御協力を得て私なりに努力して参りましたが国と国との関係全体からみると、この種の文化交流は極めて重要であります。私としましても、日本人会、日本商工会議所と協力して両国友好関係のため一層の努力を払っていきたいと思いますので皆様の御協力をお願いする次第です。

年の始めにあたりシンガポールの一層の発展と日本・シンガポール友好関係の更なる増大、そして皆々様の御健勝と御多幸を祈って、私の御挨拶といたします。

新年の御挨拶

会 頭

ジュロン・エンジニアリング株式会社
社 長 古新居 康

在星日本企業の皆様、明けまして御めでとうございます。1988年龍年のお正月を、皆様とともにお祝いできますことを、心からおよろこびいたします。

旧年1987年度のシンガポール経済は、着実に回復基調を辿り、年間成長率は年初予想より上方修正されるものと思われます。これは、C P Fはじめ諸税減免、質上げ抑制ならびにシンガポールドル安定化等、積極的な政府の諸施策と、日系企業他民間企業の合理化諸努力とが相まって、国際競争力を回復させ、製品輸出の増加、外国からの投資拡大等、景気浮揚に見事な成果を挙げたと云う事ができましょう。

新年、今年は龍の年、前年度からの上昇気流に乗って一挙に安定した経済圏に到達し、確固たる地盤を築きあげたいところですが、周辺を見廻し、前途を見渡してみると、今年も又手離しの楽観は許されない状況

にあるように思われます。すなわち、内部的には労働力の不足、質上げ期待の増大ならびに諸減税特例の徹廃等。外部的には保護貿易強化の傾向、特惠関税の廃止ならびにシンガポールドル調整への圧力等、国際経済の先行き不透明感のなかで、容易ならぬ問題が前途に待ちかまえて居るように思えます。

既に経済大国化した日本は、当地においても投資額№1となり、経済技術面で果たしている実績は大きく、今後は文化交流面に至るまで、積極的な役割りを受持つ事が期待されて居ります。日系企業480社からなる当日本商工会議所も、会員皆様の御参加を得て、地元業界および政府諸当局と密接な連絡を保ちながら、引続き各種事業を強力に展開させていかなければならないと考えて居ります。

年頭にあたり、皆様方の御健康とますますの御発展を心から御祈り申し上げます。

どうぞ良いお年をお迎え下さい。



小さな国の春

副会頭

シンガポール松下無線機器(株)

社 長 小出 富夫

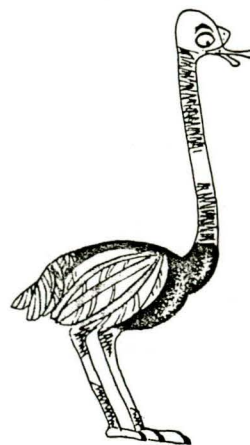
フランスとスペインの国境にはさまれて、アンドラという小さな国のあることを知っている人は少ないと思う。フランスとスペインの国境にピレネー山脈があるが、その東側に位置する小公国である。広さは20×30Km位で、面積が435Km²、シンガポールより少し小さい。人口は3万人、平均標高が1200m、一番高い山が2946mである。

私が数年前に行った時には、ガソリン以外は関税がないフリーゾーンで、スペイン、フランスから多勢の観光客が来ていた。私は初春のピレネーの風景を眺め、極上のシャンペンを飲み、エスカルゴをつまみ、満足して帰途についた。私は、雪国の冬に生まれたせいか、雪を見るとなぜか落ちつく。

同じ小さな国でも、アンドラとシンガポールでは随分違う。両国とも観光に力を入れているが、アンドラは自然を売りものにしているし、シンガポールは人工に重きを置いてい

る。アンドラには、何回も行きたくなるようなすばらしい自然がある。雪におおわれてそそり立つ山々、岩をかんで激しく流れる澄んだ水、端正に整った樹木の影を映す湖、起伏のある緑のジュウタンを思わせる牧場など。

シンガポールへ来た人は、例外なく美しい手入れの行き届いた植物や街並みを誉め称える。人工の美しさである。観光というより、コンベンションシティとしての売り込みに力を入れている。山の街と海の街、自然と人工。あまりにも対称的な二つの小さな国である。この春は一年で一番暑い季節である。アンドラの自然は「真夏の夜の夢」か。



シンガポール雑感

副会頭

日商岩井株式会社

シンガポール支店長 稲垣 富雄

シンガポールに着任し1年2ヶ月、実に、あっという間に過ぎました。世界で最も退屈な国とのアンケート結果が、新聞に報道されましたが、東南アジア勤務が初めての私は毎日興味深く、送っています。インド、中国などより、エキサイトするものが少く退屈 (BORING) とされるのは、発展途上国の域を超えた当国には、欧米人がイメージする、東南アジア的なものが少いことも理由かと思いますが、長期に滞在するものにとっては、日常の毎日がエキサイティングでは、困りもので、都市機能が整備され、生活水準が高く、犯罪の少いシンガポールは有難いところです。

短期間の生活で、最も感銘を受けているのは、当国の政治です。若い国の、若い指導者が、先進国 (或は成熟国) の取り入れる可き点、回避すべき問題を観察し、簡明、卒直に政策に反映させていることです。試行錯誤的なケースもあり、朝令暮

改を誇る向きもあるようですが、私はむしろ、機敏な政策変更と、国民への敏速な周知に、感心しています。

リー首相が、昨年三月に、それ迄の抑制策を改めて、第三子以上を持つようとのスピーチを行ない、政府の奨励策も発表されました。

小さな私の事務所でも、十二月に三名、亦本年1月には二名の社員が、出産休暇をとっております。

昨年の建国記念日の、リー首相の、国民八割中産階級宣言と、それに引続く、EXCELLENCEの迫及、及び各自の仕事に誇りを持つと言うアピールなどの、精神運動も、なかなかやるなど、感心させられます。

第二世代のリーダーの1人が、物質的に、一応の水準に達したシンガポールにあって、彼等ニューリーダーの目標は、「シンガポールに生きることを、喜びとする (MAKING LIVING IN SINGAPORE A JOY)」ことであると、言っています。

シンガポール川を奇麗にする、或は、日本の桜の様に、毎年の思い出となる、一斉に咲く火炎樹の林をつくる計画などが、「生きる喜び」の具体的な一例の様ですが、季節のないシンガポールに、季節をつくるという考えは、すばらしいことだと思います。

国家の経済が、全面的に貿易に依存し（1986年の当国の輸出入額はG N Pの267%、因に、日本は17%）世界の動きが増幅して反映する当国では、今後も、情勢の変化に対応して、新政策や、国民へのアピールが出されると思います。

業務上の関心を別にしても、シンガポールの政治は、エキサイティングとは言えぬまでも、興味深く、示唆にも富んでいると思います。

私も、あと何年かの駐在期間、退屈することは、なさそうです。



天は人に二物を与えず

理 事

伊藤忠商事（株）

支店長 海老塚 享

些か大袈裟で気が引けるが、「天は二物を与えず」というのは真にその通りである。

私の場合、髪は年の割りには恵まれているらしい。余り大した手入れもしないのに比較的黒く健在である。

昨年夏休み、当社駐在員の小学校低学年の子供達に、我が家を民宿代りに提供して預った。

或る日、散髪して帰って来た私を見て、「おじちゃん、床屋さんて髪を染めて来たの」と家内に無邪気で嬉しい質問をして来た女の子がいた。すかさず家内が「あのねー。いい事教えてあげようか。おじさんはアデランスをしているのよ。ためしに引張ってごらん」とちゃちを入れると「本当!」と言いながら傍にとんで来て、髪を掴んで引張り、「うそ!」と叫んだ可愛いお墨付までである。

問題は歯である。シンガポールに来た時、既に義歯を入れていたが、余り美味しいものを食べすぎたせいか、昨年義歯を支えていた歯が駄目

になり、新しい義歯に入れ替るはめとなった。

前回、日本で治療を受けた時は、一年もかかったが、シンガポールでは二ヶ月半で終わった。その意味では能率的で手際も良いのだが、当地の一回の治療は二時間位かかることもあって、あのガリガリと歯を削られるのに弱い人には相当の覚悟が要る。

治療の途中で仮義歯に入れられるが、元が不便なもので、固い物は食べられないし、普段でもしゃべり難い英語が一層億劫になる。

治療が終った時はホッとしたが、歯医者からは、「夜は取りはずしてから寝る様に。但し旅行中は絶対はずさぬこと。ホテルに忘れて来て困った人が多いですよ」と懇切なアドバイス迄戴いた。

新しい義歯は前のと違って補強の意味で上顎にピッタリくっ付く部分がついている。

これが仲々の難物で違和感がとれる迄は全く具合が悪い。

又、味は舌で味わうものとばかり思っていたが上顎の部分も重要な働きをしているらしく、従来より味覚を味わう楽しみが少なくなってしまった。うっかりチューイン・ガムなど口に放り込むと義歯にくっ付いて始

末が付かなくなる。人間の体のどんな些細な部分も実にうまく出来ているものだと妙な所で感心している。

私はお餅が好きでお正月といわず好きな時によく食べていたが、こんな次第で今年からのお正月はお餅なしで祝わなければならなくなった。誠に残念である。



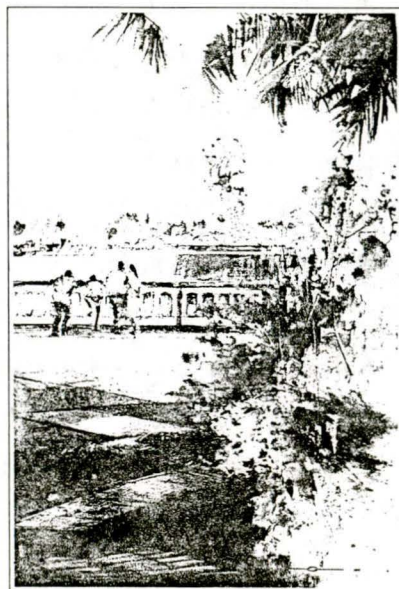
今年も引締めてゆこう

理 事

日立造船シンガポール株式会社
社 長 中尾 大三

日本人は引きが得意だと言われる。
我々は鋸は引いて切るが世界中見廻してもこれは例外的な少数派だ。
言葉にしても引上げる、引つけられる、引立つ、から昔の国引物語迄ある。
運動にしても顎を引き、脇を引締めるのが大体の基本でゴルフでも角力でも同様である。水前寺清子も押して駄目なら引いてみなと歌っている。
一方引きと或程度共通のものをもっている縮みも日本人の特意とする所で、古くはトランジスターラジオや計算機を大量に作り出したし、傘も折たたんでしまうし、扇子といった昔からの立派な縮みの代表作もある。
最近はや言葉迄縮めてしまい、パソコンだとかドラコンといった新造語は限りなく造り出されてゆく。

年頭に当りここは外国でシンガポールだ、ここで事業をさせてもらい色々お世話になっているという事を改めて心に銘じて気持を「引締めて」行きたいものと考えている。



業 界 展 望

理 事

ホテル・ニューオータニ・
シンガポール私人有限公司
総支配人 中田 真人

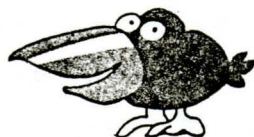
お正月と云えばコタツに入り紅白歌合戦を見ながら迎えるものと決めていたのに、早いもので五回目のトロピカルニューイヤーを迎えました。四季のないこの国では過ぎた年はとても短かく、しかしこれからの一年はより長く感じられます。日本では四季ごとの衣替えは時にはわずらわしくさえ思いましたが、又一面心身の一新を計ることが出来ました。

しかし、南国では年中同じものを着てただ時が過ぎて行き、年ごとの区切りすら忘れがちです。従ってせめて正月には心掛けております。

ホテル業界が苦況に入った84年に開業し、世界の大都市東京とほぼ同数の二万三千室を有するこの都市国家シンガポール、東京の様に私鉄、国鉄のストライキで満室になることもなく又、国内市場を持たず、全て外国を市場とし、日本では経験した

ことのない値下競走。そしてシンガポール観光局は1987年ホテル協会加盟ホテルの年間平均客室稼働率は5割を割るのではないかと予想でした。しかし、リー首相がホンコンに例を取り“世界のホテルで不況が五年以上続いたことはない”との発言通りになり、シンガポール経済の回復及び円高による日本企業の進出、買物目的の観光客の伸びにより予想を大きく覆す回復が見られました。本年は観光局が来星客数やホテル客室稼働率のみではなく業界の総収入に着目し、増収に向は指導してくれることを期待したいと思います。

1988年“88”は中国語で“発発”幸運と同じ発音だとのこと、我々にも幸運の年でおりますように！



リゾートの効用

理 事

日本航空株式会社

支店長 河野 裕

昨年十月に弊社はインドネシア（ジャカルタ）の北々西70キロメートルの、ジャワ海上の珊瑚礁の島に、「プラウ・スリブ」というマリニリゾートを開設した。

オープンして1カ月経過してから、現在ジョイントベンチア事業を推進中のシンガポリアンであるA社長夫妻と、家内を同伴して2泊3日の旅程でプラウ・スリブへ出かけた。

A社長は一年の約三分の一を海外で過すという所謂猛烈ビジネスマン、これまで奥様同伴の旅は少なかったようで、ジャカルタに向うフライトでも私同様に何となく落着かぬ風情であった。高速艇に乗船すること約1時間余り、私達はプラウ・スリブの栈橋で、島民の奏でる南国ムードの音楽で迎へられた。映画「南大平洋」の「バリハイ」を思い出すシーンである。間もなく山林の間に建つインドネシア風の高床式コテッジに案内され、私達は隣り合わせで滞在することとなった。

到着した第一夜は、水上に浮かぶレストランでフレンチワインとそれもまたフレンチクジーンを賞味し乍ら、当リゾートの寺尾支配人の話を聞いた。寺尾さんはいま愛妻とお二人で孤島に住み、時折ジャカルタに買出しに出かけているとのことだが、「ここには電話もテレビもありません。ですから落着いて生活ができるんです。ご家族互にコミュニケーションを図れる絶好の場所なんです。そういうコンセプトでこのリゾートを運営しています。」また同氏は「通常使っている左の脳（学問・ビジネス思考）を暫く休ませて、普段は余り使わない右の脳（芸術的創造、運動）を駆使、身体のバランスを採るのが望ましいリゾートの過し方なんです。」と持論を披露しリゾートの効用を強調、これには日常、経済性・効率性本位に過してきたA氏には、私以上に衝激があったに違いない。翌日は熟睡したあと、寺尾さんのアドバイスに従い、夫婦揃って日中には余り慣れないテニスラケットを握ったり、ジェットスキーやシュノーケルに興ずるなど、インストラクター指導の下でマリンスポーツに熱中した。

A氏夫妻はと言えば、「泳げない」

という理由でカタマランでクルーズをしたり、島内散歩で過ごした様だ。

孤島のしかも南国の落日は実に素晴らしい。ディナーのあとは私達四人、棧橋のベンチに腰かけて自然と「シンガポールの日常生活」「お互の風俗習慣」さては「故郷のこと」云々につき話が弾んだ。話を聞くにつけてこれまで知り得なかった華人の苦勞祖国への郷愁に強い共感を懐くとともに、彼等の生活や習慣が実は日本人のそれと極めて類似している点が多いことに改めて気づき、東洋人同志という連帯感で意気投合もした。いつとはなく心の輪が広がり、互に「支那の夜」「北国の春」「四季の歌」「植生の宿」を合唱、続いて一人一人持歌を独唱することとなった。爽やかな海面からの風が頬を撫でる中で、散会しがたい感懷を憶えたものである。

翌朝、晴天のブラウスリブを後にした。高速艇の航跡を見詰め乍ら、家内が「リゾートっていいわね」と私に呟いた。隣りではA氏夫妻が遥かにブラウスリブを眺め乍ら、棧橋に佇む島民に手を振っていた。

実行の決意

理 事

丸 紅 (株)

シンガポール支店長 名取幸男

皆様 新年おめでとうございます。

三度目の海外駐在として、着任後約一年半が経過した。「新年随想」として寄稿依頼を受け先ず思い浮べたのは、日本の正月での過ごし方があります。

お正月の門松や松飾りをはずす迄の期間を「松の内」と称して来たが、年々門松も簡素になって行く中で、この古き言葉も何時迄続くかと、ふと思う時もある。然し元旦に、新たな事の実行を決意したり、一年の計を樹てるという良い習慣は、日本でも海外でも存続して行くと思われる。

小生の場合、一商社の支店の経営を本社から委託されているので、生活の軸となり半ば以上の時間を充てる「仕事」という表現を用い、一年の計を樹てたいと考えつつあります。

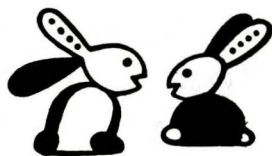
人によっては、「家事・家庭の躰」「公職の場の活動と属する組織の改善」・「クラブ活動」等、各人が関係する分野で、見直すに値する三つ

の仕事（分野）があると思います。

- ①先輩から継承し今後も続けて行くべき仕事（分野）
- ②一日も早く止めた方が良い仕事（制度や分野）
- ③一日も早く始めなければならぬ仕事

上記①②③を見分けるのは、左程困難ではないかもしれませんが。問題は如何に且一日も早く実行するかにあります。「過去の習慣」「あちら立てばこちら立たずのバランスの問題」、特に②③の点は「度重なる説明への工夫と粘り強い説得・強固なる信念」が、より必要とされるが故に、ややもすると、改善半ばにして先送りとなり勝ちです。

小生自身、特にこの“実行”を重要課題として、新年度にチャレンジしたいと思っています。その為には、率先垂範と困難な問題に自ら取組む決意が必要と思う次第である。



新年雑感

理 事

株式会社三菱銀行

支店長 荻野 輝雄

これで三度目の真夏の新年を迎えた。さて、今年は何を1年の課題とするか。

一昨年、来星の折、考えたことは、

- (1) ゴルフの腕を上げること。
- (2) 英語に慣れること。
- (3) 旅をし、アジアの自然風物に触れること。であった。

これまでの成果はどうであろうか。

まず、(1)ゴルフの腕を上げること。

さすがにゴルフ天国である。年間ラウンド数は、百回にも及ぶが、残念ながら、腕前の方は一向に上達しない。努力不足を棚に上げて、才能の無さと嘆いている。

平均スコアで、5ストローク程度の改善では話にならない。一段の努力が必要と自覚はしているが、練習に精を出すわけではない。

次は、(2)英語に慣れること。

かつての英国領だけに、正統派のKING'S ENGLISHかと思いきや、実に多採な英語が気楽にとびかっている。もともと語学が嫌いで不得手

なだけに、これ幸いとばかりに環境に順応し、単純明快（たとえば LONG TIME NO SEE）な所謂 SING-LISH（シンガポール英語）にすっかり親しんでいる。「郷に入りては郷に従え」といって自分を慰めている様ではいつまでたっても上達は覚束ないだろう。

最後に、(3)旅をし、アジアの自然風物に触れること。

これだけは、できるだけ多くやってみたいと思っているが、なかなか旨くいかない。出張で周辺諸国によくでかけるが、いつも大都会（バンコック、クアラルンプール、ジャカルタ）での所用で終わってしまう。アジアらしい自然や風物に触れられる機会は本当に少い。これまで訪れた処で印象に残るのは、バリ島、ジョークジャカルタ、スラバヤ、ペナン島、アユタヤ程度である。

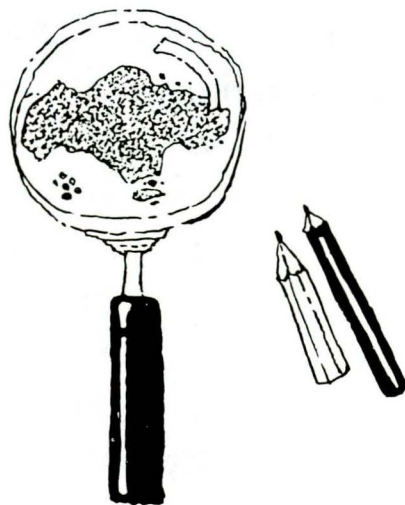
いまひとつ、昨年の新年随想に書いた「島内を歩き廻る」方も、暇をみつけては挑戦している。昨年の実績では、

- ブキティマロードの縦断（ウッドランドからセランゲンロードまで）約8時間
- シティからチャンギー空港、約7時間が大物である。

さて、今年は何に挑戦するか。どうもゴルフも英語も、能力の限界にきているのか遅々として上達せず甚だ癪である。

やはり旅行だ、島内も歩いてみようと思う。近隣諸国だけでなく、できればインド、中国まで足をのばせればと思う。

島内の方は、「オーチャードからジュロンまで」が当面の目標で是非やってみたいと思っている。



暑い国の正月

理 事

三菱商事株式会社

シンガポール支店長 吉崎 英輔

シンガポールへ来て約半年、初めての正月を迎える。海外での正月は、ニューヨーク、ロスアンジェルスに次いで三回目の経験だが、暑い国での正月を迎えるのは初めてである。クリスマスもそうだが何となく寒くないと気分が出ないとよく云われる。

確かにニューヨークあたりでは、余り寒くない冬でも不思議にクリスマス前あたりになると雪が降り出し、WHITE CHRISTMASとなる。これはこれで誠に乙なものである。しかし振り返ってみるとロスアンジェルス of クリスマスそして正月はどうだったであろうか。此処シンガポール程暑くはないが、さりとて寒くもない。でも充分に正月気分は味わえたと言憶している。要するに、余り暑さ寒さには関係ないのである。

唯日本の正月の寒い気候に惑わされて、何となくピンと来ないと勝手に思い込んでいるだけのよう思える。

要は、生活に区切りをつける節目

が大切なのであって、一つの節目として正月を考えている私にとっては、暑かろうと寒かろうと全く関係はない。冷房の中の正月、大いに結構。大好きな餅でも食いながら、のんびりと、ぼんやりと例年のように過し、気分を新たにしていきたいと思っている。

唯気になるのは、例年紅白歌合戦を見て、一年の締めくくりに行っているのだが、これがない。何かこれに代るものを探して締めくくりとしたいのだが、これが難しい。

滞在中に何か締めくくりにふさわしいEVENTを考え出したいと思っている。

海外勤務になると、私の一番したい事は旅行である。その点、此処はドライブで行ける所が限られているので淋しい。飛行機を使って周辺の国へ行くしか手がなかろうが、土日だけでは短か過ぎる。さりとてなかなか休暇はとれない。好きな旅行が思うにまかせないというのが、シンガポール駐在中の悩みとなりそうである。結局、ゴルフに明け暮れるしかないのだろうか。

新年に当って、気分を新たにしても、さて今年はこれで行こうというアイデアが浮んで来ない。やはり仕事をするしかないか。

素朴な疑問

理 事

三井物産株式会社

シンガポール支店長 杉崎 彰

謹賀新年

来星一年生の身では、シンガポールに就いての見識にも乏しく、諸先輩の如く含蓄ある随想も書けないので、一年生が感じたシンガポールに関する素朴な疑問を記してみたい。大方のご高説がうかがえれば幸甚である。

(1) H D B アパートの足は細過ぎないか

H D B 高層アパート群は、どれもナウくて色彩も楽しいが、一階吹き抜け部分の柱の太さを見ると細過ぎはしないかと思ってしまう。地震国日本から来たばかりの一年生は、ついつい震度4の地震が起きた時の事など想像して不安になるのだが、この国では心配無用なのだろうか。勿論十分に科学的な設計になって居るのだろうが、誰かこの国には絶対に地震は来ないと約束して安心させて欲しい。

(2) シンガポールの犬は何故走らないのか。

この国では走って居る犬を見かけないのが気になり出した。放し飼い

の犬も、ゆっくり歩くのみで走り廻らない。我が家の犬も冷房の利いた室内では走るのに庭に出すと走らない。きっと暑さのせいで、犬も息切って走ることを馬鹿馬鹿しく思っているのだろうが、それとも走ると500ドルの罰金なのだろうか。

(3) ドリャンは何故人の頭に落ちないか

我が家の庭にドリャンの木あり、去年は豊作であった。15メートルも高い所になって熟すると地上に落下して来るが、面白いことに昼間は決して落ちて来ないで、明け方真下に人間が居ないのを見届けて落ちて来る。あの固くて凶器の様なとげのある実に直撃されたら、ひとたまりもない筈だが、ドリャンの実に打たれた人の話は聞いたことがない。ドリャンは人に当たらないというニュートンの法則があるのだろうか。

(4) シンカラは何故そっかしいか。

私の前住者が昨年 of 新年号に名もない鳥の話を書いている。シンガポールカラスの事であるが、私の代になっても我が家のガラス窓にぶつかって絶命するシンカラは後を絶たない。大抵二羽でガラスに体当たりして落ちるが、これは恋愛ごっこに夢中のあまり、前を良く見て飛ばない為である。時には三羽一諸に、ぶつか

ることがあるが、これは三角関係のもつれであろう。事故防止の為に或る時、ガラス窓の外にかかし風の物をぶら下げたら、それからぶつからなくなったが、おかげで他の色鮮やかな熱帯の鳥達も、恐れをなして寄りつかなくなり、我が家のバードウォッチングの楽しみが消えてしまった。どなたかシンカラのそそっかしさを直す良い方法をご存じないだろうか。

(5)水洗トイレの水量が少な過ぎないか

ASEAN 随一の先進国でありながら、水洗トイレの水の量が少な過ぎる様な気がする。一流ホテルを除いては、オフィスも、レストランも、クラブも水洗トイレの具合は今一つで、きまって水量が不足気味。ザァーッと渦を巻いて流れ出るあのさわやかさが無い。だから落したペーパーも、やっと思いで消えて行く風情である。

マレーシアからの水の供給が足りないせいだろうか。

ともあれ、今年も良い年であります様に。

気にしない気にしない

理 事

NECエレクトロニクス・シンガポール
・プライベート・リミテッド

社 長 吹野 勝重

世の中のことをいちいち気にし過ぎるときりが無い。今年はひとつシンガポール流の Never Mind で片づけたいものだ。

光陰矢の如し、当地へ赴任以来早いもので3年と8ヶ月になる。無我夢中の着任当時のことは今でも鮮明に覚えているが、1年・2年・3年と馴れるにつれて何も記憶に残らなくなるから不思議だ。好況→不況→好況の波の中を漂っているうち、3年目位から何となく周囲がよく見えるような気がし始め、最近ではメンドクサイ病、マンネリ病、手抜き仕事病が頭の中を蔓延している。

Never Mind。

さて小生は昨年の本欄新年随想でシンガポール経済の行末で気になる点をいくつかあげておいた。即ち労働力の絶対数不足、外国人ワーカー、ジョブツアーの風潮、低学歴のワーカー、技術者のジョブホップ、フレキシブル賃金制の行末等である。さすがにシンガポール政府は一つ一つ

の課題についてクイックレスポンスで対応策を推進している。

まず労働者不足と外人ワーカー問題については、国内に約45000人ほどいる失業者（あまり働きたがらない主婦、定年前の高令者、もと収入が高かった失業者など）の雇用促進のため労働者移入国をマレーシア1国にしぼり、外人雇用比率のMAXを50%に抑え、新外人雇用税の採用で実質人件費がC P F 25%時代より高くなったからもはや経営者はあれこれ迷う必要はなくなった。ひたすら新聞社に募集広告代を奉仕しジョブツアーで廻って来るワーカーを待てばよいのだ。

技術者のジョブホッピング問題だって、目くじら立てて話題にするのは日本人だけだ。曰く、せっかく新学卒を3年ほど教育し、さあこれから一人前に働いてもらおうぞ、テクノロジートランスファもするぞという頃他社へ高給で移ってしまう、と。何も腹を立てることはない。彼等優秀なローカル技術者にしてみれば、もう少し異種の技術を身につけ、見分を広め且つ応分の待遇をしてくれる新会社へ移るだけなのだから。すべからく我々はトレーニングスクールの一員として当国のテクノロジーアップに貢献しているのだと自己満足し、鷹揚に構えればよいのだ。気

にしない。

次にフレキシブル賃金制の行末について考えてみよう。これも答えは実に簡単である。始めは正攻法的に、前回不況の一大要因とされた高率固定賃上げによるコスト国際競争力の喪失の轍をふまない様に種々計算式を考えるが、「ワーカーと技術者をキープしなければならない」という現実の前には論理を超越した高額固定賃上げしか解が出て来そうにない。いつか来た道へ踏み込みつつあるがワーカー不足、大学での技術系学生養成不足の中で更に外資の新規誘致、拡大が進められている現実とはもともと論理的には合わないのだ。コストが又々上って国際競争力が落ちてもそのうち何とかなるさ。気にしない。

最後に、気にしない種をもう一つ。この国の産業特に製造業を見ると実に見事にオール借物競争でやっていますな。同じアジアN I C Sの中でも韓国・台湾が5年先10年先を見て基幹産業・ハイテク産業へローカル資本を投下しているのと対照的だ。何かの都合で外資が一斉に資本を引上げて本国へ帰ったら、一体シンガポールはどうなるかって？、答えは簡単、又別のところから資本と技術を呼べばいいだけ、これこそフレキシブルだ。気にしない、気にしない

日本は国際化するか

理 事

新日本製鉄株式会社

シンガポール事務所長 東垣内 英哉

数年前私の友人（外国人）が初めて日本に旅行をし、感想を問われて曰く「一番驚いたのは日本には日本人しか住んでいないことだ」と答えた。確かに最近こそ我が国の諸々の自由化政策によって多少日本在住外国人の数が増えてはいるが総人口対比では相変らず無きに等しい数である。従って日本人は毎日の生活を全て相手が日本人であることを前提に思考し行動する。

日本は国としては確かに経済大国となった。日本の国内外の経済活動が世界各国経済に大きな影響を及ぼしているのは紛れもない事実である。そして日本の商品が国際的になっているのもこれ又事実である。

しかし日本人が「国際的」になっているかという点は甚だ怪しい。

商品と共に人間も国際的に通用しなければ日本が国際化されているとは云えまい。

国際的な人間とは何か。

諸外国の人間の考え方を理解する

と同時に自らの立場、考え方を堂々と主張し相手に理解せしむる能力を有する人間を指すとすれば残念ながらその数はそう多いとは思われない。外国人の物の考え方を理解するにはその背景となる歴史、文化のほかに日常的な行動規範を知る必要があるが、“隣りの人は常に日本人”の状態ではそんなものは知るべくもないからである。そして将来“隣りの人は何人（なにじん）なりゃ？”という所から生活行動がスタートするようになるには日本は外国人に“是非住んでみたい”と思わせるような生活環境を持つことが前提となるが、これも暫くは難しそうな情勢だ。

こんな話を当地の友人（日本人）と話していたら「まあ外国人が住みたがろうが住みたがるまいが、やっぱり日本はいい国だ」、「そりゃまあそうだとなった。日本人の国際化は遠い。



トランプと私

理 事

岡本(シンガポール)株式会社

副社長 三森 和正

お正月の家族や親しい友人達との遊びの中にトランプゲームがある。婆抜きや7並べなど、子供達にも出来るやさしいものから、ツーテンジヤック、ナポレオン、ブリッジなどやや複雑なルールを持つゲームもあって、結構楽しいものだ。

私は学生時代から麻雀や将棋よりもトランプの持つ神秘性に興味をひかれた。住んでいた環境のせいかも知れないが、何よりも遊ぶ人数に制限がなく、ルールも限りなくあって子供は子供なりに、ベテランはそれなりの高度のテクニックを要するゲームが出来るし、更に自分たちで、新らしい遊びを工夫する楽しさもあった。

トランプは、古くから占いに用いられた様に、多少秘密めいた雰囲気を持ち、適度の賭博性と、相手の目を惑わすマジックの要素も備えていて、一人で遊んでも結構楽しい。簡単な手品やゲームを知っているだけ

で、子供達や外国人ともすぐ仲良しになれるし、007の映画でのジェームスボンドのカードトリックの面白さも分って、にやついたりする。

その絵柄もハートが僧侶を意味する洋盃で、スペードは王侯の剣、ダイヤは商人の貨幣であり、クラブは農民の棍棒と言われ、従ってカードの位もスペードが最上位で、次がハート、ダイヤと続き、クラブが最下位に置かれているのもうなづける。

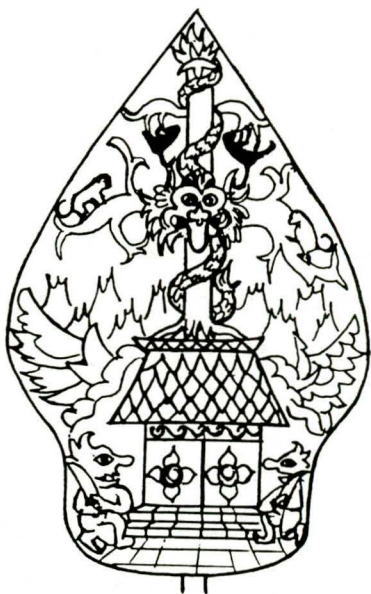
トランプの発祥の地は印度と言われ、ジプシーによってヨーロッパに拡がり、一方中国や日本には麻雀や歌留多の形で伝わって来たと聞いている。しかしどの国も、数や絵を合せて楽しむ人間の遊びに共通した素朴なものが含まれているのは、興味深いものだ。

海外に旅行した際、美しいトランプを集めるのも、楽しい思い出の一つであり、また何よりも良いお土産になる。数年前、アムステルダム空港で買ったオランダのカードは、キングがH、クイーンがV、ジャックはBと書かれていて、子供達をまどわせた。スイスのカードは印刷が美しく、花や鳥のシリーズがあったり、帆船やクラシックカーのシリー

ズなど、買い出したらきりが無い。
アメリカのはポーカー用に細身で、
腰が強く、手に吸い着く様でシャッ
フルするのも楽しく、日本製も最近
大変美しくなったのは、うれしい。

円高に振廻された1987年も去り、
新らしい88年が、始まろうとしている。
オリンピックの年であり、21世
紀に連る希望の年だ。だが果してど
んな年になるかは誰も知らない。

元旦の夜、皆が寝静まった頃、一
人身を浄めて、新らしいカードの封
を切り、古来、ジプシーから伝った
秘法を用いて、私の敬愛するトラ
ンプの女神に、この新らしい年の運勢
をたづねたいと思っている。



初夢の話

理事

ザ・ポリオレフィン・カンパニー
(シンガポール)

プライベート・リミテッド

社長 牧 英夫

7回目の新年をシンガポールで迎えることになりましたが、この7年間の当地の変りようは誠に目覚ましいものでありました。早い話が、街を歩く若い人達の服装ひとつにしても、材質といい、ファッショナブルなことといい、六本木や青山の夏のそれと全く変わりありません。仕事の関係でアジア各国の主要都市を訪れることが多いのですが、夫々に随分変っているもの、機能的に、バランス良くかつ美しく発展しているという点で、シンガポールがずば抜けていることは誰しもが認める場所でありましょう。

けれども一方で、日本からの友人や親戚の者が来星した際に、観光に案内する場所が段々少なくなって来たのが私どもの小さな悩みではあります。新しい、機能的な都市国家としての表看板の他に、東南アジアらしい風物を求めて来る人達も多いのです。

昨年の秋、休暇で日本へ行きました

た際、奥日光の温泉で久し振りに広大な湯舟で手足を伸ばして参りましたが、その帰り、江戸村という新しい観光名所を訪れてみました。未だ第一期が完成したばかりですが、建物はいづれもかなり正確に時代考証をしており、その村で働いている人達は皆さん江戸時代の服装をしておられます。沢山ある食物屋もＴＶで見るとような昔懐かしいもので、半日位のんびり過すには中々の場所と思いました。

そこでふっと思いましたのは、シンガポールに、ミニ・アセアン村を作っては、ということでした。ひとくちに東南アジアと云っても、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンと夫々に歴史もあり風俗も違っております。夫々の代表的、伝統的な建物、服装、民族舞踊、民芸品などをその村で再現して貰います。夫々の国の代表的な食物をその村で楽しむことは勿論です。

シンガポールは東南アジアの玄関口としての位置づけにあるため、ここでアセアン各国の歴史、風俗や伝統芸術を真面目に紹介することによって、訪れた人達は次には夫々の国に観光旅行をする動機をここで植えつけることにもなりましょう。安っ

ばいものではなく、忠実な考証に基づいて作ること、日本人や欧米人その他の大人の観賞に耐えるものが出て来ると思います。食物やみやげ物の売り上げが貢献して採算的にも成り立つのではないのでしょうか。

こうしたアイディアを観光局に提案した処で、私は眠りをさましてしまいました。今年が平和で豊かな年でありますように。



年頭の大決心

理 事

シンガポール タイム

代表取締役社長 国方 恒雄

昔から「一年の計は元旦にあり」という。なるほどと思って毎年、今年はこのをやろうと心に決めて来たが物になったものは殆んどない。55回も新年を迎えたのだから、もう少し何とかならなかつたかと思うのだが、何ともならなかつた証拠に今だに車の運転はできないし、ダンスも踊れないし、ゴルフもできない。だから、東京の混雑した道路をハンドル捌きよろしく疾走する人を見ると無条件に尊敬してしまう。薄暗いホールの中で、麗人を相手にバンドの演奏にあわせて軽快なステップを踏んでいる人を見ると、畏敬の念に打たれる。ましてや、あんな小さなボールをあんな長くて細いクラブを振りまわして、あんな遠い所にある、あんな小さな穴に入れてしまう人を見ると、尊敬のあまり猛烈な劣等感にかられて、ああ俺は何てダメな男だ、とてもあんな真似はできない、今さらあんな神技を弄する人に張りあおうなどと夢々思うまい、ただ、興味深々だし、話ぐらいは参加したいから、もっぱら観戦…ということ、ゴルフとはテレビで観るものと定義付けてきた。

ところが、幸か不幸か又、海外勤務を命ぜられた。前回は、何とかゴルフをやらないまま6年間を勤めあげて帰国したが、今回は、周囲の圧力が全然違う。ゴルフができなければ、仕事ができないのと同じ雰囲気である。確かに、当地で逢う10人が10人ゴルフの好きな人で、ゴルフを避けては仲間に入れてもらえない。ゴルフはできないというと、「だからデブなんだ。」と簡単に結論づけられてしまう。有難いことに、10人が10人、「それじゃ始めなさい。ゴルフをやれば帰りに麻雀もやれますよ。」と誘ってくれる。「飯より好きな麻雀がセットになっているなら…」と、当方の弱点を観破した甘い誘惑の美辞である。本社のお偉いさんも麻雀派は少ないが、ゴルフ派はゴマンという。シンガポールに出張して来たお偉いさんに、ゴルフを勧めるのは「麻雀をしませんか」などという下衆な誘いより数段カッコいい。会社の若い人達も「ヤレ、ヤレ」とあおる。もっとも、これは麻雀の仇を打とうという下心が見え見えであるが…いずれにしろ、客先とも社内上下ともゴルフは必修科目のようだ。又、いつものように計画倒れかな々と一抹の不安はあるが、年当に当たって今年こそ「ゴルフをやる！」と決心した。

でも大丈夫かな、こんなこと宣言して。

「幸せの板」

理 事

住友銀行シンガポール支店

支店長 菊池 巖

グググッと込み上げる苦しさで思わず口を押えたら、手にどす黒い血と消化半ばの食物があふれてきました。足元がふらついて立っているのがやっとでした。気がついたら救急車の中で、サイレンが遠いところから聞えてくる感じがしました。仕事のこと、家族のこと、友人のことが、意識の中に蘇ってきましたが、あの世へ行くとはこんなことかと頭のどこかで考えたりしていました。もう十年程前のことになりますが、雪のふる寒いニューヨークのことでした。次に気がついた時には無影灯の下で、丸太のように裸にされていました。それからの毎日毎日は検査々々で生きた心地もしませんでした。幸い大きな病ではないことがわかりホッとしました。あの年は男の厄年といのでしょうか、自分のまわりに種々なことが起ってバテ気味だったのを憶えています。

そんな時に内地から出張してきた友人が何気なくこんな話をしてく

れました。

人間はうまれながらにして同じ大きさの「幸せの板」を持っていてそれを少しづつ使って生きているというのです。ただ、ある人は一度に沢山使ってしまった残りが少なくなることがあるそうです。「十で神童、十五で天才、二十過ぎれば只の人」とか「宝くじで特等をあてるとあとがよくない」といった例がそれです。病気になったり、苦難に直面している時は「幸せの板」を磨いている時で、むしろ嬉ぶべき時だということです。この話を聞いてそれまで余り気にしないで「幸せの板」を使ってきたので、神様がブレーキをかけてくれたのが、今なのだと思ったらすごく気が楽になりました。

あれから十年、「幸せの板」を大事に使うように心がけ、大酒を飲んだり馬鹿さわぎをやめました。

しかし、シンガポールの初めてのお正月ですので、チョッピリ「幸せの板」を使わせていただいて、新春ゴルフ・コンペには、優勝したいと思っています。



随 想

理 事

住友商事株式会社

支店長 田本 耕三

祇園精舎の鐘の声、
諸行無常の響あり。

心に響く、琵琶の旋律に合わせて物語られる平家物語は、古来幾多の人々の心に、一門の栄枯盛衰の儚さと、それをいろどる薄幸の姫君や公達への、限りない哀惜の情を呼びおこして来た。

諸行無常と言う言葉は、多分そうした経緯もあって、もの悲しいニュアンスをただよわせるようになって来て居る。

しかし、仏説によれば、諸行無常とは「すべて恒久不変なものは無い。すべては限りなく変化して行く。」と言うことを指すのであって、およそ感情をさしはさむような言葉ではない。

今や変化の時代、激動の時だと人は言う。

しかし、それは今に始まったことではない。

2000年も昔から、ブッタ ゴータマが、
観ぜられ説かれていたことなのである。

只、次第に時間と空間が短縮され、人々が対応にいとまが無くなって、いささかもてあまし気味になって来たに過ぎない。

すべては変化する。

そのことは、わかって居ても、自分にとって好ましい変化もあれば、望ましくない変化もある。

都合の良いことは、いつ迄も続いてくれば良いし、都合の悪いことは早く変れば良い。勝手なものである。

しかし、そのようにこだわって居ると、変化と言うものがうとましくなり、そしてしまいには見えなくなってしまう。

だから仏説は、こだわりを捨てよと説いた。

森羅万象、すべてはその人の心の動きのなかにある。そうして、どうしようも無くゆれ動く心を持ったその人を含めてが森羅万象なのである。

こだわりの目で見れば、すべてが様々の相を見せて、その人の心をゆさぶり、迷わせ、悩ませ、つづけるであろう。

しかし、こだわりを捨てることはむつかしい。だから、捨て切れないにしても、捨てた目に近づければ、それはそれで良いのだと思う。

こだわりの無い、むろやかな目で、すべてを観ることが出来たら、これ程素晴らしいことは無い。

それは、多分、空（くう）の心に、近づけて居るのだと思う。

新年雑感

理事

大成建設株式会社

所長 尾形 悟

新年あけましてお目出とうございます。

建設部会を担当させて載きまして半年になります。その間さしてお役にたてず申し訳なく思っております。シンガポール経済も既にその不況を脱出し何かと明るい新年を迎えられる事と思います。残念ながらその中であって我々建設業界は未だにその不振から立ち直る事が出来ず昨年1年間をとっても日本人駐在員の数が2/3に減少しております。

今後 MRT の完成に伴いその数は更に減るものと予想され寂しい新年になりそうです。諸説を総合致しますと今年も我々業界にとってはさして明るい材料が見当りませんが、今や数ヶ月先に何が起るか予測の出来ない時代です。我々にも何か神風でも吹く事を期待してここは暫く忍の一字で耐える時期かと思えます。私も今年でオーチャード・ロードのイルミネーションを見ながら5回目の新年を迎える事になりました。

5年間を振り返って何かシンガポールについて書こうとしてもさしあたるものが浮んで来ません。

整然とした都市計画、チリひとつ落ちていないクリーンシティ、日本では考えられない住居環境、お金さえ出せば何でも手に入る便利さ。衣食住全てに満された生活環境の中では、あまり記憶に残る様な事はおきないのかもしれない。

私の前任地は中東はイラク国バスラ市。その4年間の駐在生活を思い出し語ろうとすれば1時間や2時間はすぐにでも過ぎてしまいます。灼熱の太陽。その熱さたるやシンガポールのそれとは比較になりません。我々外での労働を強いられる者にとっては真夏になるとそれまでの半袖の作業服を長袖のものに衣替えをする必要があります。直接膚を太陽の下におき火傷と同じ様になるのを防ぐ為です。

又よく言われる様に車のボンネットで卵を料理するなどと言う事は本当に朝飯前の事です。その熱さの中で一番幸福感を満喫出来る瞬間は市場でミネラルウォーターを手に入れた時です。と言うのは歴史のあるチグリス、ユーフラティス両大河が合流して出来る敬虔なる“アラブの流れ”

には我々日本人が飲むのには充分過ぎる程の塩分が含まれているからです。生れてからこの方喉が乾いた時には水を飲みその乾きを癒やす様教えられてきました。ところがアラブの水でそれをやろうとすると余計に喉が乾くという悪循環に落ち入ります。そのミネラルウォーターを発見した事は他の者には黙っています。密かに自分の部屋に持ち込み夕食の後一人寂しくお茶をいれて飲みます。それ以来少し性格が変わった様な気がしております。

まだあります。

1980年9月突然始めた隣りの国との喧嘩。レーダーを避ける為高圧線の下を潜りぬけ(少なくともその様に見えた)超低空で侵入してくる戦闘機。それを迎え撃つミサイルの火の

玉。毎日10数発無差別に送られてくる長距離砲の響き。その恐怖から逃れる為の夜毎、繰り出す夜の街の1本1万円のビールの味。思い出すといろいろあります。

その中でも新年だけは毎年日本式で迎えました。

コンクリートで作った臼でやる餅つき大会、細い針金とパイプに色をつけて作る門松1年前の紅白のビデオを見ながら食べる年越しソバ。

そして沙漠の上に昇る大き過ぎる初日に向って、今年も無事である様にと祈った真剣さ。

バスラで経験した程の刺激はいりません。でも今年はこちらシンガポールでも少しは記憶に残る様な事に巡り合える事を期待したいと思います。今年も宜敷く御願ひ致します。

'88
龍年

シンガポールの文化

理 事

東芝シンガポール社

社 長 川添 成章

シンガポールは海外赴任希望地
“3S”の一つであると云われる。
対日感情や治安が比較的良い事、日
本人向食料が豊富な事等がその理由
であろうが、一方短所としては、週
末ドライブが楽しめない事、エンジ
ョイすべき文化がない事—等が赴任
前に私が得たシンガポール情報であ
った。確かにドライブで行く処はあ
まりない。島内は二時間で終りであ
り、ジョホールに渡っても対向車と
のすれ違いで命がけである。

では文化はどうであろうか？

文化の定義は難しいが、音楽会に行
って音楽を楽しむのも文化であると
すれば、その機会は十分にある。ク
ラシックの場合、主たる会場はヴィ
クトリアホールで毎月2〜3回、金
土曜日にある。演奏楽団はSSO

(SINGAPORE SYMPHONY ORCHESTRA)く応募者は欧米系大企業が多い。何
で、P協やV協の場合は対外国から
ソリストを招く。SSOのメンバー
も3割は欧米人であり、東洋人ゲス
トを加えれば、約半数が外国人と思
われる。

曲目はポピュラーなものが多い。
ベートーヴェンなら“英雄”“田園”
“P協皇帝”、チャイコフスキーな
ら“悲愴”“V協”“P協一番”等
々。しかしラフマニノフだからと云
って必ずしも“P協2番”でなく
“一番”であったりもする。マーラ
ーもある。ラローもある。ワグナー
は序曲しかない。

去年はNUS卒業生グループ(二
期会の様なもの?)によるシュトラ
ウスのオペラ“こうもり”もあった。

観客の服装は、上衣なし、ネクタ
イなしのシンガポール方式で、欧米
の音楽会とは雰囲気が出が違う。我
々日本人は音楽会と云えば必要以上
に畏ったり、難しい曲を有難がって
音楽ならぬ音学にしたがる傾向があ
るが、一応の演奏技術で、聞き慣れ
た曲をリラックスして聞くのも又一
つの楽しみ方である。

入場料は最高\$20と極めて安い。
当然これで運営出来る筈はないので
先づ政府の援助があると聞く。それ
に加えてスポンサーへの依存が大き
く応募者は欧米系大企業が多い。何
故か日系は従来は殆んどなかったが、
去年は大使館の後押しもあり、相当
数の企業が寄附を行って日星文化交
流に貢献した。

演奏案内の月刊冊子“ARTS DIARY”

は、一流ホテルのカウンターに置いてあるが、月極購読したい人は次の事務所に申込みば無料で郵送してくれる。

CULTURAL AFFAIR DIVISION
MINISTRY OF COMMUNITY DEVELOPMENT
512 THOMSON ROAD
SINGAPORE 1129
TEL: 3506110

この冊子には、クラシックだけでなく、ジャズ、ダンス、ドラマ等の案内ものっている。

かかる現象を見ていると、西洋音楽をやさしく、安いメニューで提供して、国民の情操教育の一環とすると共に、対外的には文化国家の一つのシンボルにしたいと云う政府の努力がうかがえる。

中国語とのかかわり

理 事

横河電機新加坡私人有限公司
取締役社長 徳永 研一

1980年、はじめての対中国技術移転の仕事にかかわり合ったのがもとで、語学年令から言えば60の手ならいと知りつつ、ついついそのはてしない樹海に踏みこんでしまった。なまじ文字が解ると思ったのが間違いのもと。まるで日本人になじみのない発音と楽譜を続むような抑揚。気がついた時には、出口のない樹海の中に迷い込んだようなもので、今更来た道を帳消しにもできず、さりとてどっちへどれだけ行けば、目指す所へ行きつけるか、全くあてのない始末。

そのうち皮肉なめぐり合わせで、突然西から東へ180度の方向転換。米国のプロジェクトに首まで漬かり、モノにならんと棚上げしたハズの英語生活がまる2年。

あげくのハテに行き着いた所が、東でも西でもない、その接点と言われる南国シンガポール。……と言う訳で、ナル程多様な英語と中国語が混ぜこぜの不思議な言語環境。



ならばいつそのこと、英語を媒体に中国語とまともに対決して見るかとクラスに入ってマル一年。まともな中国語を学ぼうという華人生徒に囲まれて悪戦苦闘。

動脈硬化の進まぬうちに速決で……という思いも空しく、この分ではこの新しい年も、相変らず樹海をさまよい歩くこと間違いなし。

〇〇につける薬なし——とは知りながら、なんかヒケツはないものか？

いや、むしろこの悠久の歴史を持つ国語の果てしない樹海をさまよい歩くことが、老化防止のクスリ——健康法と割切ることの方がヒケツかも知れぬ。



「無心」ということ

顧問

フジテック・シンガポール・コーポレーション・リミティッド

取締役社長 風間 一潤

謹賀新年

昨秋、所用で帰国した際、偶々、画家の中川一政の制作生活を追った記録映画を観る機会を得た。

「ぼくは、もともと不器用だから美術学校にも入れなかった。勿論、エライ先生について絵を習ったこともない。それが今では、却ってよかったと思っている。」と、たしか、もう90才を幾つか超えている画伯は、訥々と語っていた。

ピクニックに来た小学生が、好きな写生でもしているかのように、実に奔放に楽しげに、筆を動かしながら、「この画は、まだ完成していない、だけど、もうこの辺で止めにして、みんなには、『こんどは思ったよりも、うまく出来上ったよ。』なんて言っとけば、誰もこの画が未完成のものと疑う者はいないだろうなあ。」などと、人をくったようなことを言って、いたずらッぼく笑う。

その表情は、当に無心そのものである。そこには、ひとに素晴らしい

画だと言われたい、美しく描きたいなどという俗物のとらわれや、迷いの心が微塵も感じられない。

中川一政をはじめ、梅原龍三郎、武者小路実篤、態谷守一そして棟方志功にしても、その絵画や書は、決して、所謂「キレイ」なものではないと思う。

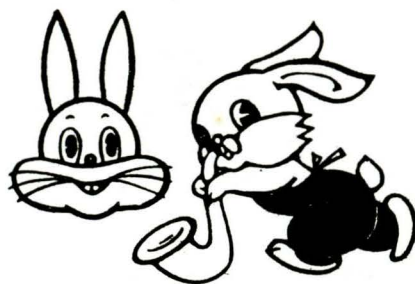
そこには、凡人が真似のできない、謂わば、不器用さとか、拙さとかのもつ、ほのぼのとした体温に似たもの、「無心」が創り出す美とでもよべるようなものが在るのではないだろうか。それが、多くの人々の心を強くうつのであろう。

子供の絵や書に、屢々観られる「無心」。言うは易く、達するは至難の境地であり、これこそ、般若心経に謂う「空」に通ずるものであろう

現代絵画の父、セザンヌも「画を描くときにのみ、私は最も神に近づく。」と言っており、まことに宜なる哉である。

技術さえ習得すれば、芸術になるというものではあるまい。それは、単なるワザと知識の集合に過ぎない。そこに、心が存在して、はじめて芸術とよべるものになるのではないだろうか。

これは、何も芸術だけに限ったことではない。今年も、このことを、よくよく心したいものである。



ゴルフ随想

顧問

旭TV硝子株式会社

社長 松田 文男

早いもので、いつの間にか年は過ぎ、常夏のシンガポールで、9回目の正月を迎えることとなった。ふりかえって見ると、会社人間になって何度か転勤したが、同一場所の連続勤務地としては、当地が最長となってしまった。

四季がなくテレビ番組もあまり面白くないこの国で、週末を何とか退屈せずに過してこれたのは、私の場合、ゴルフ、読書、マージャン等のお蔭であるが、この中でも特にゴルフが最大の寄与をしている。この意味でゴルフをやっていて良かったなぁとつくづく思う。

私は日本でゴルフブームが始まった1961年にゴルフを始めたので、既に26年半を経過している。ゴルフの本に、素人ゴルファーのハンディキャップは普通始めた年令の半分まで行くもので、努力と素質があれば更に良くなるなどと、書かれているが、私の場合正に普通で、日本時代は概ね18位であった。

1979年4月、当地に上陸して間も後く、シンガポールでの第1回目のゴルフをトライしたが、当日はカ

ンカン照りの中でのゴルフで、日射病にかかりそうになり、歯を食いしばって何とか完走だけしたことを思い出す。それでもこの道が余程好きと見え、こりもせず1週間後には第2回目をやり、以後週末には仕事等でつぶれない限り、毎週ゴルフ場通いをするという生活をあきもせず繰返して来たものである。日誌を整理して見ると、8年9ヶ月で658回やっているの、75回/年という実績が出て来る。日本での実績が約18年で500回位のものであるので、私のゴルフ人生としては、シンガポールでのゴルフがマジョリティーを占めることとなる。このお蔭でハンディキャップも14~17と日本時代より少し向上した。

シンガポールでのゴルフは、やっている間は暑くて汗まみれになり、快適とは云えないが、それでもゴルフプレイそのものは楽しむことができ、終わった後シャワーにかかり、パートナーと共に馬鹿話をし乍ら飲むビールの味は格別である。

今年も、同好の皆様と共に、ゴルフを楽しみ、健康を保持して行きたいと考えている。

シンガポールリアンのところ

監 事

第一勸業銀行

支店長 斎藤 和幸

当地の日本人社会の昨年度のいろいろな出来事の中でも、日本人墓地の改修整備が特筆されると思います。が、当地在住の日本人の一人として関係者の皆様のご努力にあらためて感謝したいと思います。

今後は未長く墓地公園として次代に引きつがれていくこととなりますが、立派になった墓地公園を見るにつけ、当地の他のよく整備され、集約された Cemetery が思いおこされます。

皆様もご存知だと思いますが、Upper Bukit Timah Road から Choa Chu Kang Road に入り、西へまわりますと、宗教別に整然と区画集約された Cemetery が見えてまいります。キリスト教、仏教、イスラム教、ヒンドウ教を始め、ユタマ教、ゾロアスター教等の Cemetery があり、多様な中にも、実に整然としており、シンガポールリアンのところのひだを見るような気持ちがいたします。

当国が多民族、多宗教国家であることを凝縮して示しているような光景であり、あらためてこの国のなりたちを一目で認識させてくれるとともに、多様な中にも一つの秩序を築き上げ、一つ一つの民族の誇りと伝統を保持しながら、国としての統一をもなしとげようというシンガポールリアンのところがひしひしと伝わってくるような光景です。

さて、今年は日本にとっても当国がますます重要な国となっていくと思われませんが、多忙な毎日をすごすなかでも、この国の人のところを理解する努力は、さらに重要になってくると思われます。

年頭にあたり、我々在留邦人にとっても、心のふるさとである日本人墓地が、多くの人々の善意と努力で立派に整備されたことを感謝しつつ、シンガポールリアンの心のふるさとである Cemetery にも思いをいたして、拙文を綴ったものです。

本年もよろしく願い申し上げます。

88年に期待する

オブザーバー

ジェットロ・シンガポール・センター 所 長 野 島 裕

昨年6月末に着任以来、早や6カ月が過ぎた。季節の変化がないシンガポールで一週間、一ヶ月は過ぎ去るのが極めて早い。その間、日本から持参した800枚の名刺の大半は、以下の目的での来訪日本人に費やした。

投資

円高の影響から我国の企業は、大も小もこぞって、海外投資熱に浮かされた。本来なら海外とは全く縁もゆかりもなかった国内専門業界さえも、海外雄飛を考えざるをえなくなった。『海外雄飛』とは、かつては恰好いい言葉であったが今は全く異なり、サバイバルを求めているきびしい言葉であろう。海外と言っても、一体どの地が適当なのかは、自分の眼と足で確認するしかないということで、馴れない土地と横文字の苦労を承知で、わんさと業界人が当地を訪れた。労働賃金の差から、マレーシア、タイに工場を持つことに決めた企業もかなりの数に昇る。タイについては、これまでの十数年間の投資

分を一年で倍増する勢いであった。

シンガポールへは、かなり慎重な対応ではあったが、それでも製造業、非製造業合わせ100社程度が進出した模様である。ASEANのなかで非製造業の進出は断突であり、不動産業、人材派遣業などシンガポールならではのものであろう。問題はこれから進出製造企業が如何にその製品を日本を含め第三国にうまく輸出するが、これからの課題である。

貿易

去年は地方業界の買付け商談会が活発に行なわれた年であった。特に九州5県（福岡、佐賀、長崎、鹿児島、宮崎）及び三重県が30～40社に及ぶ地場業界を引き連れて来星した。もちろん日本から輸出したい業者もいたが、ほぼ半数はシンガポールから買いたいというものである。その主な物は加工食品、アパレル、機械部品、アクセサリ、文房具、雑貨の類であり、輸出したいのは食料品、金物、機械などである。変わり種では中古自動車、遊園地用具の輸入などがある。特にシンガポールから買いたいというものについては、当地TDB、中華総商會が、一生懸命になってシンガポール側の業者を紹介するので、商談は引きも切らずの盛況であった。日本の地方ベースでの取引が、ちょうどシンガポールの業者の輸出商談の供給可能数量にマッチするのであろう。こんなことからでも、対日輸出が着実に増えてくれることを願っている。

1988年の世界経済の見通し

東京銀行シンガポール支店
BOT INTERNATIONAL
(SINGAPORE) LTD

中川 敬

1987年10月14日、東京、丸の内に働く人々の顔は一樣に明かるかった。その日東京株式市場は、史上最高値を記録し、株価が再び、力強く上昇トレンドに転じた事を誰もが確信し合った。O Eはスキー旅行のプランを練り、中年の管理職は、これでちょっとは住宅ローンの返済が楽になると、やや生気をとり戻し、企業の財務マンは、財テクによる運用実績を自慢げに部長に報告し、トラストのファンドマネージャーは自らの運用術に一層の自信を深めていた。そして、10月19日、東京が秋の夜の静けさに入る頃、ニューヨークは、月曜日の朝を迎えていた。

かくして、過去1年有余にわたって、力強い上昇を示してきた各国株式市場の株価は、まさに強弩の末にも似て（今ならティーショットの末とでも云うのか）、バツタリと力を失い、大暴落を演じたのであった。因みに、各国株式市場暴落状況は次表の如くである。

		10/14	10/20
ニューヨーク	DOW JONES INDUSTRIAL	2,412.70	1,841.00
東京	日経平均	26,428.20	21,910.10
香港*	HANG SENG	3,783.20	3,362.40
シンガポール	STRAITS TIMES	1,430.50	961.50
ロンドン	FT. INDUSTRIAL	2,301.90	1,801.60

*香港市場の価格は10/20に替えて10/19を使用。10/20以降市場を閉鎖した為、再開後の10/26には2,241.69迄下落した。

本稿の段階では、株価暴落の後1ヶ月余であって、未だ各国政府が株価維持、回復に努力中であり、今後、レーガン大統領及び議会による財政赤字削減策の具体的詰め、或いは、G5 or G7の開催も予想されて、何がしか新たな政策協調が合意される可能性がある等、事態は甚だ流動的であるが、以

下、1988年の世界経済の方向につき、米国、日本より始め、後にNICS—シンガポールにいたって、その凡そのところを述べてみたい。

米国の双子の赤字—貿易赤字、財政赤字—が拡大する中で1987年年央以降、ドル売り圧力が高まり、一方では、各国の金融政策面での協調不調によって、（そして、より直接的にはベーカー財務長官の不用意な発言によって）株価の暴落を招いたが、この結果、米国経済を中心にデフレ圧力が高まり、1988年の世界各国は低成長を余儀なくされると考えられる。先進国経済成長は、1987年の2.6%から2.1%へ、発展途上国に於いては、3.3%より3.0%への減速が予想されている。この為、主要各国は、インフレ警戒スタンスより逆に転じて、金融緩和方針を採っているが、米国の金融緩和が必然的にドル安の引き金となる事を考えれば、米国の金利政策にどこ迄期待しうるかが疑問視されている。やはり、日独の一層の内需振興が要求され、共に米国の財政赤字削減努力が強く要請されねばならない。

1988年の米国の実質経済成長率は、1.5%と予測する。これは、1987年見込みの2.6%に比較し、かなりの景気後退を意味しているが、主として、株価暴落の影響が大きい。即ち、一つは個人消費の冷え込みである、クリスマス商戦はまずまずであると云われているが、株価暴落に伴う資産の目減り—逆資産効果—により、消費が手控えられ、貯蓄率が高まって、消費財、殊に耐久消費財支出が落ち込んでくる。又、民間設備投資においては電子産業など先端産業での機械設備等への投資が堅調に推移はするものの、株価の下落に伴い、増資等による株式市場よりの資金の調達がやや難しくなる結果、総体としての設備投資にブレーキがかかろうし、更に消費への弱気見通しは、当分の間、民間企業在庫の調整につながってくる。民間住宅投資にも伸び悩みがみられる。こうして、内需における全般的不振により、一方に於いては、内需減—輸入の減少に伴う、貿易収支の赤字改善というプラス面はあるものの、成長率の低下にいたるものと予想される。但し、ドル安、金融緩和による低金利は、徐々に輸出にプラス効果を与え、下半期には、若干の成長率改善も期待されよう。

他方、日本経済は、ひきつづいて景気上昇を持続しうるところとなり、

1987年実質経済成長率（見込）3.3%に対し、1988年は3.2%と予想されている。主たる成長要因は、内需の好調、拡大に求められる。即ち、個人消費は企業収益の回復による賃金の伸び改善、並びに所得税、住民税減税や、物価の安定等の諸要因により、かなりの伸びを示すであろうし、低金利、優遇税制政策面でのテコ入れにより、民間住宅需要も堅調に推移する。日本に於いては、米国と異り、個人資産に占める株式保有割合が未だ小さく、株価下落に伴う個人消費への影響は比較的少ないものと考えられている。一方、非製造業も含めた民間設備投資については、1987年後半よりの回復力を維持し、ひきつづいて堅調に推移しよう。但し製造業においては内需関連投資が中心であって、一部の製造業は、寧ろ海外生産体制を整備していく方向にある。最後に、公共投資であるが、各国政策協調の観点より、NTT株等の売却資金を原資とし、相当額の増加が期待されて、経済成長への下支え機能を発揮すると思われる。

1988年の日本国際収支予測は、円・ドル相場予想にとって重要なファクターである。輸出は、円高の影響、NICSの景気下降により、若干鈍化するが、輸入に於いては、石油等一次産品の価格低下はあるものの、内需の活発化並びに、日本企業による海外生産品輸入により増加がみられ、貿易収支黒字は減少する事となろう。又貿易外収支については、海外旅行が更に増加し、赤字幅に若干の拡大がみられる結果、経常収支黒字幅は徐々に縮少していく事となる。然し乍ら、長期資本収支面の赤字はかなりの変化、改善が見込まれている。即ち、ドル先安観がひきつづき強い為、本邦機関投資家の外債投資手控えがつづき、本邦資本の流出が相当規模にて減少するとみられ、他方、強い円志向による海外投資家の対日証券投資の増加が予想される結果、再びドル安への圧迫が考えられる。従って、米国財政赤字の目に見える改善がなされない限り、又、或いは、ドル金利の上昇がない限り、かなりの円高場面が考えられる。

次に、これらの先進国経済のNICSへの影響を考えてみよう。

1987年に輸出を中心として高い成長率を達成したNICSは、米国の輸入減、貿易摩擦、更には相場調整圧力の高まりを原因として、1988年に

は、輸出の鈍化、成長率の低下が予想される。最近のマルフードやヤイター等米国高官の NICS 批判は、日本、西独につづいて、NICS に向けて貿易戦争の第二戦線を開いたと確信して良い発言であるし、又、G S P (特惠関税) の撤廃も噂されている。進出日本企業の電気、電子製品を中心に徐々に対米輸出が増加しているシンガポールは、韓国、台湾、香港と並んで、今後厳しい非難に晒される事を覚悟しなければならない。1988 年のシンガポール経済は、米国景気の後退による輸入減並びに石油、一次産品価格の下落に伴う周辺諸国の景気不況により、外需が不振となる一方、国内面では、2 年間の賃金凍結解除による賃金上昇、C P F の企業負担増など、企業業績のマイナス要因あり、経済成長率は低下すると予想される。業種別にみた場合、食品業、金融業はひきつづき堅調とみられ、石油精製も一時的にもち直すが電気電子製品製造業、運輸通信業は横這い、建設業はあい変わらず不振と考えられ、この業務に於てはそろそろ海外市場開拓も必要となろう。かくして、1987 年に (政府見込) 8 % を記録した実質経済成長率は 1988 年には 5 ~ 6 % と予想されているが、シンガポール経済の貿易依存度の高さ (86 年輸出額の対 G D P 比率は 130 %) を考えると、5 % 成長の達成でさえ難しいものと思わざるを得ない。

さて、最後に、米国の双子の赤字問題である。ドル安による米国企業の輸出競争力の回復、及び、対外通商政策、海外企業の米国内生産拡大などの動きを背景にして、貿易収支の赤字は緩やかに縮少していこうが、米国及び米国民の高消費体質、並びに輸入依存体質は短期間に是正されえず、赤字改善には、自ら限界があるものと思われ、1988 年も現行水準 - 1500 億ドルに近い赤字となろう。他方、財政赤字削減についてはなんとかレーガン大統領と議会の間で合意をみた結果、2 年間 760 億ドルの赤字削減に努力する事となったが、1988 年が大統領選挙の年である事を考え合わせれば、今尚、その実行については疑問の残るところである。

然し乍ら、米国経済の安定、ひいては、世界経済の安定と健全なる発展の為には、米国の双子の赤字解消が不可欠なる事論をまたず米国民は消費の抑制に耐え、日独等先進各国は、内需の拡大によりこれに对应していかな

ければならない。特に日本は、本来安かるべき食料品等の輸入を拡大し、米国の購買力低下部分をカバーしていくよう努めなければならない。

あとがき

経済の動向をマクロ的に測定し、経済成長を予測、考量する事は経営や営業の計画策定にとって、重要な作業であろうが、我々の日常業務へのより直接的具体的つながりが見えにくいという点に於いて物足りなさを感じるところがある。やはり、来年はどういう商品が売れるかとか、今後の成長業種はどの分野であろうとか、いかなる株が上がるだろうかといった予想乃至予測というミクロの世界の方に魅力を感じる。それも、常人では、なかなか気付かないような予想というものに満足度が高い。時に、風が吹けば桶屋が儲かるの類いが歓迎される所以であると思われる。

ところで諺ひとつ

It is an ill wind that blows nobody any good.

外山滋比古先生の解説を（某嬢の結婚式で同席させて頂いたご縁で）無断拝借すれば以下の通り。

直訳すれば

「だれにも利益を吹き送らないような風は悪い風である」

若干意識をすれば

「甲の得は乙の損」

そしてもっとくだければ

「風が吹けば桶屋が儲かる」となる。

最近、大恐慌再来論議が盛んである。しかし、単なる1929年以來の60年周期説であれば、それは、古來の辛酉説にも似て、科学的根拠に極めて忙しいものであろう。寧ろ、この50有余年の資本主義發展の英知の上に、信頼を置くべきではなかろうか。

ある人に依れば、エコノミストの売名的言辭は、カウフマンに始るとの事。尤も、最近のカウフマン先生は、「私はフォルクスビルトシャフトラーではなくカウフマンだ」とおしゃるかも知れないが、それはともかく、他人事である限りにおいて、人は整然たる秩序よりも、凄絶な変転を好むところがあるが、徒らに人々に不安を与えるのがエコノミストの仕事でなかろう。文字通り ILL-WIND にならないようご注意頂きたいものである。

(注) 文中の成長率その他の数字については、特に断りのない限り、東京銀行発表の予測数値を使用した。又、予測数値の算出には 1 ドル 130 円台の為替相場を使用しているが、その後の円高相場から、各々の数値を僅か乍らプラスマイナス修正して考える必要がある。

会 員 紹 介

* DELOITTE HASKINS & SELLS

(デロイト・ハスキンス・アンド・セルズ)

所 在 地 : 6 Battery Road # 27-01,

Standard Chartered Bank Building, Singapore 0104

電話番号 : 2248288, Tlx: RS 29011, Fax: 2247520

設 立 : 1984 年 6 月 (登記)

形 態 : その他

代 表 : 岡田 昌光 (Director)

Mr M Okada (Director)

従業員数 : 250、日本からの派遣社員 1 名

事業内容 : 国際監査法人として監査業務、税務 (法人及び個人税務)

セクレタリアル・サービス、経営コンサルタント業務、企業

買収、合併、売却業務、専門幹部職員採用業務、マイクロ・

コンピューター応用による財務計画等に関する相談等を行う。

* INTERASIA LINES LTD

(インターエイシア・ライン株式会社)

所 在 地 : c/o Integrated Agency Pte Ltd

7500 Beach Road # 16-307/312 The Plaza, Singapore 0719

電話番号 : 2928793/4

設 立 : 1968 年 9 月 (登記、操業)

形 態 : 駐在員事務所

代 表 : 松田 忠重 (駐在員)

Mr T Matsuda (Representative)

従業員数： 51 名、日本からの派遣社員 1 名

事業内容： Shipping Company

Japan - Taiwan - Singapore - Malaysia 間に weekly にて Service を行っている。

(会社の特色)

敏速且つ steady な service を荷主に提供するが当社のモットーである。

* UCHIDA YOKO TRADING PTE LTD

((株) 内田洋行 トレーディング)

所在地： 9 Penang Road #09-22, Supreme House, Singapore 0923

電話番号： 3397432/3397436, Tlx: RS 37938 UCDSF, Fax: 3397532

設立： 1987 年 7 月 (登記)、1987 年 8 月 (操業)

形態：子会社

代表：中村 信彦 (取締役)

Mr N Nakamura (Director)

従業員数： 3 名、日本からの派遣社員 1 名

事業内容：オフィス家具を中心とした事務用品一般の輸出入。日本製品に限らず広く NICs 各国より商品を求め中近東、ASEAN へ再輸出を行うと同時に国内販売も手掛ける。

(会社の特色)

優れた品質を持市場に合致した製品は供給元を問わず広くアジア各国へ求め市場のニーズに答えるべく販売活動をしていく。

* HOXAN INDUSTRIES (SINGAPORE) PTE LTD

((株) ほくさん工業シンガポール)



所在地 : 40 Tuas Avenue 9, Jurong, Singapore 2263

電話番号 : 8613177, Fax: 8610322

設立 : 1987年4月(登記)、1987年12月(操業)

形態 : 子会社

代表 : 久保 義弘 (専務取締役)

Mr Y Kubo (Senior Managing Director)

従業員数 : 15名、日本からの派遣社員2名

事業内容 : 太陽電池、ソーラランタン、太陽電池応用機器の製造・販売
低温機械・機器及びその部品類の製造並びに販売、医療機器
並びに医療装置の製造並びに販売、温度表示機器及び半導体
及び電子応用機器の製造並びに販売。

(会社の特色)

(経営理念) : まず相手の立場に立って考える。

(商品の特徴) : 先端技術の商品の製造

(将来の抱負) : シンガポールの人材を生かした仕事を考えたい

理事会の動き

1988年度1月12日(火)第222回 午後12時30分～

議事に先立ち、大塚顧問(千代田化工建設)及び田本理事(住友商事)より、それぞれご帰国の挨拶があった。

議 事:

1. 前回議事録承認

異議なく承認された。

2. 審議事項

(1)大塚顧問のご帰国後の処遇について

運営担当理事会(古新居会頭、稲垣副会頭、木村・田本・勝山各理事が出席)において大塚顧問を名誉会員としてご推薦したい旨の決議がなされ、本件について諮ったところ、全会一致で承認された。

(2) AIESEC'S FUNCTION COMMITTEE (FOREIGN RELATIONS COMMITTEE) からの日本研修旅行への資金援助要請について

AIESEC シンガポールより依頼のあった標記寄付の件について、先方より提出された資料(アイセックの組織、活動目的、今回の研修旅行の日程及びテーマ等)に基づき、事務局より説明した後、審議をした結果、JCOIの基本的スタンスとしての“原則として寄付には応じない”との方針通り、断ることとなった。

(3)理事会メンバー懇親ゴルフ大会開催について

恒例となっている理事会メンバー懇親ゴルフ大会について諮ったところ、2月12日(金)午後開催するで承認を得た。なお、具体的なコース及び時間については、稲垣副会頭より御手配頂くこととなった。

(4)会員懇親パーティ開催について

例年3月に開催している標記パーティについて今年も3月25日(金)開催することで承認を得た。なお、今年からの試みとして、シンガポール政府の要人(例:フィリップ・ヨーEDB長官等)を来

賓としてご招待し、簡単なスピーチをお願いすることとなった。

(5)その他

①田本理事ご帰国に伴う地元関係機関及び運営担当理事会メンバーの後任人選について

本件について、以下の通り承認された。

＊S I O O 及び渉外担当

稲垣副会頭（日商岩井）

＊運営担当理事会

海老塚理事（伊藤忠商事）

②留学生及び企業研修問題委員会の設置について

標記委員会の設置について、会頭より以下の発言があった。昨年12月10日（木）開催されたフィリップ・ヨー長官他シンガポール政府要人との朝食懇談会が開催され、J O O I の徳永理事（横河電機・留学生担当幹事長）から、昨年11月の調査（タイトル・日系企業における留学生及び企業研修の実態）に基づき、その結果を報告した。

ヨー長官ははじめ星・政府の要人も本調査には多大の関心を持っており、かつ本調査結果に出ている“J O O I が留学生及び企業研修生について今後とも関わっていくことの是非”についても回答・会員企業の9割以上が賛成と答えている事に鑑み、長期的視点に立って標記委員会を設置したい。また、その委員会の構成メンバーとして徳永理事（委員長）、荻野理事（三菱銀行）、二木副会頭（富士銀行）を中心に、他に数人の委員会メンバーを人選してはどうかとの提案があり承認を得た。

③事務局移転特別委員会の設置について

会頭より、本年6月を目途にJ O O I 事務局がM A S ビルに移転することが決定した事に伴い、標記委員会を設置し、移転準備を進めていきたい。その構成メンバーとして木村理事（総務担当理事）、二藤理事（清水建設）、尾形理事（大成建設）をはじめ他の理事（未定）をお願いしてはどうかとの提案があり、承認された。

3. 報告事項

(1) “INITIATIVES FOR RESKILLING THE WORKFORCE” についてのミーティング報告

小出副会頭（海外出張のため当日欠席）より事務局に依頼のあった標記報告について、提出頂いていた資料の和訳（仮）を配布し、説明した。SDF, CPF, 外国人ワーカー・レビー等の企業負担増を中心とする当該問題の緊急性・重要性に鑑み、早急にJCCIとしての基本的な態度を固めておく必要があるとの観点から、理事会の主要メンバー及び経営研究委員会メンバーにおいて本件を取り上げ、意見の取り纏めを行う事となった。

(2) 部会・委員会等開催報告

(A)事務局により、下記の通り部会・委員会等開催報告を行った。

① 部会

12月21日（月） 観光・流通・サービス部会

② 委員会

12月16日（火） 広報委員会

17日（木） 経営研究委員会

1月 8日（金） 広報委員会

12日（火） 運営担当理事会

③ 懇談会等

12月 9日（水） シンガポール国際商業会議所（SICC）との懇談会

10日（木） フィリップ・ヨー EDB 長官他シンガポール政府要人との朝食懇談会

14日（月） 財団法人テクノマート産業技術研究所石川次長との懇談

14日（月） 広島大学経済学部金原助教授との懇談

17日（木） シンガポール国際商業会議所ヘイワード事務局長との夕食懇談会

18日（金） 日商・経済協力推進協議会東南アジア研修視察団との懇談会

- | | |
|----------|---|
| 21日(月) | 東京理科大学学院工学研究科矢野助教授との懇談 |
| 22日(火) | JCCI大塚顧問・古新居会頭他との歓送会 |
| 22日(火) | 関西学院大学商学部則定助教授ゼミご一行との懇談 |
| 30日(水) | 大阪商工会議所真砂専務理事・古新居会頭との昼食懇談会 |
| 1月 5日(火) | SINGAPORE TRADE DEVELOPMENT BOARD,
TRADE DIRECTOR MR LING MING CHUANとの
懇談 |
| 6日(水) | 日本アセアン投資株式会社今原社長他との懇談 |
| 11日(月) | MRTミーティング |
| 11日(月) | 労働省労政課中村課長補佐との懇談 |
| 12日(火) | 文化広報連絡会議 |

4. 入・退会

下記の入・退会について審議した結果、以下の通り決定した。

(1)人会(6社)

- MATSUSHITA ELECTRIC MOTOR (S) PTE LTD
- NTN BEARING SINGAPORE (PTE) LTD
- SHARP-ROXY SALES (S) PTE LTD
- WAKO SECURITIES CO LTD
- MR YUTAKA NISHIMURA (COOPERS & LYBRAND)
- MR SHIGEYOSHI YAMASHITA (DBS BANK)

(2)退会(なし)

(3)1988年1月12日現在の会員数:483社(前月比6社増)

5. 会計報告

1987年12月の会計報告として、高橋財務委員作成の会計報告書を理事会出席者全員に配布した

～12月の主な経済記事～

- 12月 3日 • 政府の賃金抑制政策が奏功し、シンガポールと他の新興工業国（NICs）との賃金格差が縮まっている。

NTUC ニュースの最新号が伝える米国労働省の調査データによると、昨年シンガポールの製造業労働者の平均給与は1時間当たり2.23 USドルで、85年の2.47 USドルと比べ低下した。

しかし、他のNICsの昨年の数字を見てみると、香港1.89 USドル（85年1.75 USドル）、台湾1.67 USドル（85年1.46 USドル）、韓国1.39 USドル（85年1.31 USドル）となっており、シンガポールの賃金はこれら諸国のいずれをも上回っている。

シンガポールでは1980年以来、時間当たりの賃金が他のNICsを上回るスピードで上昇し、国内企業の競争力低下が懸念された。このため、1985・86年の不況期以降、政府は公務員賃金の凍結、CPF（中央積立基金）雇用主負担分の引き下げなどの措置をとってきた。

- 7日 • 経済開発庁（EDB）はシンガポールのサービス業の輸出を拡大するため、税優遇措置を導入した。

サービス輸出インセンティブ・スキーム（ESIS）の下に、シンガポールから技術・サービスを輸出する企業（外資企業を含む）は、輸出売り上げ全体から一定枠を差し引いた残りの売り上げの90%に課せられる税金を控除される。この枠は各企業の過去3年間の業績に基づいて割り出されるという。なお、同スキームの適用期間は当初5年間で、その後の延長も可能である。

同スキームの対象となるサービス業務は次の通り。

▲技術、建設、販売、デザイン、エンジニアリング関係。

▲技術、貿易、ビジネス業務に関係するコンサルタント、サービス管理、アドバイス。

▲海外のターンキー・プロジェクトに必要な機械・機器部品の組立と資材・部品の調達。

▲データ処理、プログラミング、コンピューター・ソフトウェア、電信そのほかの情報サービス。

▲会計、法律、医療、建築などの専門サービス業務。

▲教育・トレーニング関係。

なお、このスキームの利用を希望する企業は、「売り上げの最低20%が海外業務によるものであること」、「十分な専門知識、専門技術を備えていること」などの条件を満たさなくてはならない。

- 14日 ● ビジネス・タイムズ紙は14日から2日間にわたりマニラで開催されるアセアン首脳会談に向け、アセアン各国の経済動向をまとめた特集記事を掲載した。

それによると、アセアン各国の1977年～84年までの国内総生産（GDP）の実質年間成長率は、インドネシアが平均6.1%、マレーシアが同7.3%、シンガポールが同8.6%、タイが同6.4%となっている。

翌85年にはインドネシア、マレーシア、シンガポール3国の景気後退が目立った。同年インドネシアの経済成長率は1.3%にとどまった他、マレーシアとシンガポールは各-1.0%と-1.6%のマイナス成長を記録した。しかし同年、タイの成長率は4.1%と、他のアセアン諸国に比べて良好であった。

以下はアセアン各国の経済動向。

●ブルネイ

ブルネイの82年～86年のGDP実質成長は平均1.4%にとどまった。石油に依存する同国の国民1人当たりの所得は

年間 1 万 5422 US ドル以上と、世界的に見てもかなり高い水準にある。

その石油生産量は 1979 年の日量 26 万 1000 バレル～85 年の 16 万 5000 バレルにまで引き下げられている。同国の産油量は来年さらに日量 15 万バレルにまで削減されるもようである。

ブルネイは石油への依存を低めることの必要性を認識し、ハイテク産業や金融業などの育成に力を入れ始めている。

●インドネシア

インドネシアの今年 3 月締め会計年度の経済成長率は 3.2 % であった。しかし石油価格の低下で、同国の石油輸出による外貨収入は 47 % 縮小した。

インドネシアは石油・ガスへの依存度を低め、製造業や観光業の拡大に努めている。同国を訪れる観光客の数は昨年 10.1 % 増加した他、今年初 5 カ月間にはさらに 14.7 % の大幅な増加を見ている。

インドネシアが直面している問題としては失業率の上昇と負債の増加がある。同国の対外負債額は今年輸出収入の約 40 % に達するものと予想される。またその失業率は現在 13 % と高い。

●マレーシア

マレーシアの国民 1 人当たりの GDP は昨年まで 3 年間継続して縮小したが、同国の GDP は今年 2 %、来年は 4 % それぞれ成長することが予想されている。

経済回復に貢献した要因としては、一次産品価格の上昇と、マレーシア製品の需要拡大が挙げられている。同国の製造部門は昨年と今年それぞれ 2 ケタの成長率を記録した。マレーシア製電子・電気製品の輸出額は今年初 7 カ月間に 26.3 % 増加した他、繊維輸出も同期に 39.7 % の大きな成長を見た。

またマレーシア産石油や液化天然ガス（LNG）の需要も今年初7カ月間に10.7%拡大した他、ゴム、パーム油、木材、スズ、ココアなどの非石油一次産品の需要も拡大している。

マレーシアが直面する深刻な問題は失業者の増大である。同国の失業率は現在9.1%とされているが、来年はさらに9.4%にまで上昇すると予測されている。特に大卒者の失業者が多い。

●フィリピン

フィリピンのGDPの実質年間成長率は1977年～81年の間に平均5.6%を記録したが、82年～83年には1.9%にまで縮小、アキノ氏が暗殺された84年にはさらに低下した。

同国の昨年のGDP成長率は1.5%に留まったが、今年初9カ月間の同率は4.7%と好調である。インフレも減速し、資金の流出も以前ほどではないが、人口の約70%はまだ貧困生活を送っている。外国人の投資状況も完全に回復していない。

●シンガポール

シンガポールの経済は今年8%の成長を予測されており、景気は完全に回復した模様だ。同国の輸出では特に米国向けコンピューター関連製品の輸出が拡大しているが、今後の保護主義拡大が懸念されている。

シンガポールでは労働力の不足が深刻な問題として表面化しており、今後この問題が経済成長を妨げることが心配される。

●タイ

タイの経済状況は他のアセアン諸国が景気低迷に陥っていた84年、85年にも比較的良好であった。

タイは今年6～7%の経済成長を遂げると予想されている。84年のパーツ引き下げや石油価格の低下が同国経済の成長に貢献した。タイは昨年、石油の値下がりで10億USドルを節約した。

同国に対する外国人投資も拡大している。タイ投資局(TBI)は今年初5カ月間に日系企業から79件のプロジェクト(190億パーツ相当)に対する申請を受け付けた。ちなみに昨年の外国人プロジェクト申請受付総額はわずか6億パーツであった。

- 昨年、日本はアセアン6カ国に対して、総額8億5600万USドルを投資したが、うち対シンガポール投資が3億200万USドルで最大だった。

第3回アセアン・サミット開催を前に日本外務省がマニラで発表した“日本アセアン関係”と題する報告書によると、アセアン6カ国の中でシンガポールに次いで日本からの投資が多かった国はインドネシアで、その額は2億5000万USドルだった。以下、第3位がマレーシアの1億5800万USドル、第4位がタイの1億2400万USドル、第5位がフィリピンの2100万USドル、第6位がブルネイの100万USドルと続いている。

1951～86年の35年間についてみると、日本の対アセアン投資は累積144億3200万USドルで、同期の日本の海外投資全体(1053億7500万USドル)の13.7%を占めた。同期間の累積投資額でトップを占めたのはインドネシアで86億7300万USドル、以下シンガポールの25億7100万USドル、マレーシアの12億8300万USドル、フィリピンの9億1300万USドル、タイの8億8400万USドル、ブルネイの1億800万USドルと続く。

アセアンは日本の重要な貿易相手国だが、加盟6カ国中、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ブルネイの対日貿易収

支が黒字を記録、シンガポール、タイの対日貿易収支は赤字となっている。

- 15 日 • シンガポール経済は今年、急速な回復を遂げたが、経済アナリスト達は、「最近の株価暴落が来年末ごろにシンガポール経済に影響を与える可能性もある」と慎重な姿勢を見せている。

シンガポール政府は、今年の経済成長率を8%と予測している。この数値はシンガポール経済が初めてマイナス成長を記録した1985年直後の政府の予測を2~3%上回るものである。

しかし、アナリスト達は「シンガポールが輸出指向で、他国の経済状況に依存しているのに加えて、西欧諸国が保護主義拡大の姿勢を強めているため、これらの要因が相俟って、来年のシンガポール経済を圧迫するであろう」と予想している。

リー・シェンロン通産相は、来年のシンガポール経済の動きに関し、「米国株式市場の波乱がシンガポール経済に与える影響は、来年下半年頃に現れるであろう。その場合、シンガポールの来年の経済成長率は現在の予測を最高2%下回ることが予想されるが、もしシンガポールの最大貿易相手国である米国の経済が不振に陥った場合は、それ以上の萎縮が心配される」と語っている。しかし、こうした慎重な予想の中で、「シンガポール経済は長期的には4~6%の成長を遂げる」という楽観的な見方をする専門家もいる。

アナリスト達は、「シンガポール経済は規模が小さいため、一定産業部門の業況が経済全体に大きな影響を与えることもある。しかし逆に、小規模の故に、1985年の景気後退時のように、不況に即応した経済政策を導入することによって、経済の建て直しを図ることも容易である」と分析している。

シンガポール政府は、中央積立基金（ＣＰＦ）雇用主負担分の引き下げ、賃金の凍結などの政策を導入し、景気回復に努めてきたが、政府高官は、「１９８０年以来、シンガポールの労働賃金は上昇し続け、現在も競争相手国に対するわが国の競争力は回復していない。このため、今後も賃金を抑制すると共に、生産性の向上に努めなければならない」と指摘している。

シンガポールが将来直面するかも知れない問題の一つとして、労働力の不足があげられる。シンガポールは政治の安定、地理的位置、発展した運輸・通信網など投資に適した条件を備えているが、通産省と当地米国大使館は先月発表した調査の中で、「限られた労働力が、将来シンガポール経済の成長を妨げることもある」と報告している。

政府は国内の外国人労働者の数を、これまでのレベルに維持したり、定年の引き上げを提案するなど、この問題の解決に努めている。

しかし全般に、シンガポール経済の今後に対する政府の姿勢は楽観的である。リー通産相は先月、「今年の経済成長率が示しているように、シンガポールの景気は完全に回復した。今後、どのような問題が起ころうとも、自信を持ってそれに立ち向かう構えである」と、経済建設に対する意気込みを見せた。

廣 報 欄

** NEW MEMBERSHIP (12th January 1988)

* MATSUSHITA ELECTRIC MOTOR (S) PTE LTD

Mr I Katada (Managing Director)
213 Pandan Gardens
Singapore 2260
Tel: 5651511
Tlx: RS 22199
Fax: 5643788

* NTN BEARING SINGAPORE (PTE) LTD

Mr T Suetsugu (Director)
4 Gul Drive, Jurong
Singapore 2262
Tel: 8617901
Tlx: RS 21826
Fax: 8611704

* SHARP—ROXY SALES (SINGAPORE) PTE LTD

Mr T Urushisako (Managing Director)
100G Pasir Panjang Road
Tel: 4731911
Tlx: RS 55504 SRSSIN
Fax: 4794105

* WAKO SECURITIES CO LTD

Singapore Representative Office
Mr H Miyagi (Chief Representative)
6 Battery Road # 10-05
Standard Chartered Bank Building
Singapore 0104
Tel: 2253711
Tlx: RS 26621
Fax: 2245733

* COOPERS & LYBRAND. CHUO AUDIT CORP.

Mr Y Nishimura (Auditor Manager)
9 Penang Road # 12-00
Supreme House
Singapore 0923
Tel: 3362344
Tlx: RS 22137
Fax: 3362539

* DBS BANK

Mr S Yamashita (Manager)
6 Shenton Way
DBS Building
Singapore 0106
Tel: 2216732
Tlx: RS 24455 SWIFT
Fax: 2242742

** CHANGE OF ADDRESS & TELEPHONE NO.

- * SHINSHO CORPORATION
CPF Building
79 Robinson Road # 21-07
Singapore 0106

- * TOKAI OFFSHORE CORPORATION
1 Marine Parade Central
02-08 Parkway Builder's Centre
Singapore 1544
Tel: 3449177/3449654
Tlx: RS 28410 TOSAL
Fax: 3444892

- * FUDO CONSTRUCTION CO LTD
51 Anson Road # 14-57
Anson Centre
Singapore 0207
Tel: 2205982
Tlx: RS 26347 FUDOSN
Fax: 2253696

** CHANGE OF NAME OF REPRESENTATIVE

- * CHIYODA SINGAPORE (PTE) LTD
From Mr Y Ohtsuka to Mr S Inoue
- * THE SAITAMA BANK LTD
From Mr M Yamane to Mr M Taguchi
- * ITOMAN & CO LTD
From Mr Y Nakamura to Mr K Miyagawa
- * THE NIPPON KANGYO KAKUMARU SECURITIES CO LTD
From Mr M Kamifuku to Mr Y Otsuki

** CHANGE OF COMPANY'S NAME

- * MITSUBISHI ELECTRONICS MANUFACTURING SINGAPORE PTE LTD
From United Electronics Engineering Corporation (Pte) Ltd
To Mitsubishi Electronics Manufacturing Singapore Pte Ltd
- * MSP STEEL WORKS LTD
From The Malaysia Steel Pipe Mfg. Co Ltd
To MSP Steel Works Ltd

資料案内

国内一般

シンガポール共和国移住法	S\$ 15
民事法	S\$ 5
刑法（暫定規定法）	S\$ 10
公益事業法	S\$ 10
貿易開発委員会	(会 員) S\$ 5
.....	(非会員) S\$ 8

投資関係

資金援助制度の手引き	S\$ 8
法律 15 号（経済拡大奨励法改正法） 1979 年	S\$ 5
経済拡大奨励（所得税免除）法＜改訂版・原文付＞ (会 員)	S\$ 30
.....	(非会員) S\$ 35

租税・税制

所得税法＜改訂版＞	(会 員) S\$ 25
.....	(非会員) S\$ 30
所得税法・1985 年改正法	S\$ 5
法律第 2 号共和国所得税法改正（1973 年）	S\$ 5
法律第 13 号 " (1977 年)	S\$ 5
法律第 17 号 " (1980 年)	S\$ 5
法律第 20 号共和国所得税（改正）令	S\$ 5
シンガポールとの租税（所得）条約	S\$ 5
法律（改正）時報第 21 号（経済拡大奨励法及び所得税法改正法）	S\$ 5
シンガポールの租税	S\$ 15
シンガポールとの租税（所得）条約（二重課税防止条約の一部改正）	S\$ 5
シンガポールとの租税（所得）条約	(会 員) S\$ 20
＜改訂版＞	(非会員) S\$ 30
関税法（第 133 編）関税令＜1985 年版＞	(会 員) S\$ 15
.....	(非会員) S\$ 20

会社法

法律第 1 号（共和国会社法改正） 1970 年	S\$ 5
法律第 4 号（共和国会社法改正） 1974 年	S\$ 5
法律 19 号 1980 年中央厚生年金法告示（付表の入替）	S\$ 5
法律 16 号（会社の買収及び合併に関する）	S\$ 5
シンガポール共和国会社法	(会 員) S\$ 60
.....	(非会員) S\$ 70
会社法・1984 年改正法	(会 員) S\$ 20
.....	(非会員) S\$ 30
シンガポール共和国憲法（再版）	(会 員) S\$ 10
.....	(非会員) S\$ 15
憲法改正法（1984, 1985 年）	S\$ 5
国会議員選挙法（再版）	(会 員) S\$ 10
.....	(非会員) S\$ 15
事業登記法（1973 年法律第 36 号）	(会 員) S\$ 15
.....	(非会員) S\$ 20

為替管理・関税

法律第 6 号 (為替管理法改正) 1976 年	S\$ 5
金融業者法	S\$ 10
財務諸表公開原則	S\$ 15

業種別規則

法律第 18 号工場法改正法 (1973 年)	S\$ 5
大気汚染防止法	S\$ 10

特許・商標・その他

シンガポール共和国特許 (実施権) 法	S\$ 5
シンガポール共和国商標法	S\$ 10
価格規則法	S\$ 5
1975 年水質汚染規則制及排水法	S\$ 10
1971 年海洋汚染防止法	S\$ 5
印刷・出版業者法	(会 員) S\$ 2
.....	(非会員) S\$ 3
ホテル法	(会 員) S\$ 5
.....	(非会員) S\$ 8

労働関係

労働組合法 (1977 年)	S\$ 10
法律第 3 号 (共和国労働雇用法改正) 1970 年	S\$ 5
法律 (改正) 時報 (第 25 号)	S\$ 5
法律 (改正) 時報 (第 26 号)	S\$ 5
法律 (改正) 時報第 22 号 (雇用法並びに労働者補償法)	S\$ 5
法律 (改正) 時報第 23 号 (中央厚生年金法改正法)	S\$ 5
労働雇用法 (1976 年幼少年雇用規則)	S\$ 5
法律 (改正) 時報第 24 号 (中央厚生年金改正法)	S\$ 5
法律 (改正) 時報第 27 号 (中央厚生年金法を改正する法律)	S\$ 5
シンガポール共和国雇用法 (改訂版)	(会 員) S\$ 15
.....	(非会員) S\$ 20
中央厚生年金法 (改訂版)	S\$ 5
労働三法 (雇用法・組合法・関係法)	S\$ 30

商工会議所出版物

業種別会員名簿 (1987/1988 年)	(会 員) S\$ 15
.....	(非会員) S\$ 30
月報 (各月号)	S\$ 8
1987 年度賃金改訂、最近の労働条件及び 福利厚生等の実態に関する調査報告書	(会 員) S\$ 25
.....	(非会員) S\$ 50
シンガポールにおける企業経営ガイド	(会 員) S\$ 15
.....	(非会員) S\$ 30

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は「月報」に対し、皆様からいろいろとご協力、ご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

今年度の表紙には、昨年開通したMRTの列車風景を採用しました。MRTは、シンガポールの発展の象徴ともいえます。「月報」編集委員一同は、表紙のテーマに負けないよう、今年も有意義で楽しんでもいただける誌面作りを目指して、積極的に皆様の知りたい事、話題のテーマ等を追求していきたいと思っております。引き続き、皆様のご支援の程よろしくお願い申し上げます。

昨年度は、シンガポール経済は、予想以上の成長をとげ、日本経済も、内需を中心に、順調な成長をとげましたが、熱狂的な財テクブーム、異常な土地価格の上昇、10月の株価の暴落、一層の円高の進行と、たいへん動きの激しい年でした。今後の経済見通しを、非常に難しいものとしています。

皆様も、今年はどのような年になるのか、新年にあたりそれぞれ予測をお立てになられと思われれます。又、今年度の動向に対する御関心も深いことと思います。

そこで、新年号では、**三宅大使**に新年の随想をご寄稿いただくとともに、恒例により当商工会議所の理事各位にも、新年随想をご寄稿いただきました。

更に、この難しい状況のなかで、東京銀行の**中川氏**には、「**1988年の世界経済の見通し**」というテーマで、ご執筆を快諾していただきました。

お忙しいなかをご執筆いただきました皆様には、この誌面を借りて厚く御礼申し上げます。

今月号の担当は **山口**（東京海上）と**松谷**（東京銀行）でした。

MONTHLY REVIEW

STRICTLY MEMBERS ONLY



CLEAN RIVER CAMPAIGN

M. C. I. (P) No. 27 / 4 / 87

JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY SINGAPORE

C. P. F. BUILDING, 79 ROBINSON ROAD, # 24-04 (24th Storey) SINGAPORE 0106

COVER : PRINTED BY
TOPPAN PRINTING CO. (S) PTE. LTD.
TEXT : PRINTED BY
GREEN MOUNT PUBLICATION & PRINTING CO.
155 Kallang Way # 02-11/12
Singapore 1334. TEL : 2923831